

永遠の真理

ETERNAL TRUTH



2024 年 *9-10*

「わたしたちの高い召し」

永遠の真理

いま永遠の真理の土台の上に堅く立ちなさい。(3T p.45)

目次

はじめに

「人生を一変することができる」 3

朝のマナ

「わたしたちの高い召し」 4

Our High Calling

力を得るための食事

「小松菜と切り干し大根のごま和え」 68

レシピ

お話コーナー

「ひとすじの希望(Ⅱ)」 70

聖書物語

【正丸教会】

〒368-0071 埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1
電話：0494-22-0465

【沖縄集会所】

〒905-2261 沖縄県名護市天仁屋 600-21
電話：0980-55-8136

発行日 2024年8月7日

編集&発行 SDA改革運動日本ミッション

〒368-0071 秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1

Illustrations: Sakusabe on Front page; Sermon View on
page 4

アクセス www.4angels.jp

メール sdarm.shomaru@gmail.com

Printed in Japan

人生を一変することができる

意志は墮落し弱くなっても、キリストによる望みがある。…誘惑され、戦っている人の前に聖書を開き、繰り返し神の約束を読みきかせなさい。…キリストによるあがないの望みをいなくまで忍耐強くその努力を続けなさい。…

こうした人はキリストのために生きようと努力することを決心しているのだが、その意志の力が弱い…

悪習慣にとらわれている者に、自力で努力する必要を気づかせなければならぬ。…神の恵みが豊かに注がれ、キリストがその心に訴え、天使が奉仕をしても、彼ら自身が自力で戦おうと覚せいしなければすべてがむだになるであろう。…

誘惑の恐ろしい力を知り、放縱な生活に導く欲にひかれ、「わたしは悪に勝てない」と、多くの人が絶望の叫びをあげる。しかし、それはできることであり、また勝たなければならない…。今までに何回も負けたかもしれないが、しかし、最後までそうとはかぎらない。それは罪の生活習慣によって支配され、道徳力が弱くなっているからである。…悪に対する先天的、後天的な傾向がどうであれ、神が与えようとしておられる力によって、わたしたちは勝利することができるのである。

誘惑される者は意志の真の力を知る必要がある。それは人間の性質の中の支配的な力である。すなわち、決断する力、選択する力である。…

神はわたしたちに選択権をお与えになった。わたしたちのしなければならないのは、これを働かせることである。人間は自分の心を変え、自分の思想、衝動、愛情を支配することはできない。自分を純潔にし、神のみ業に適するものとすることもできない。しかし、わたしたちは神に仕えることを選び、自分の意志を神にささげることができる。そのとき、神はわたしたちの中に働き、神がお喜びになるようにしたいという志を立てさせこれを行わせられる。こうしてわたしたちの性質が、いっさいキリストの支配下におかれるようになる。

意志を正しく働かすことにより人生を一変することができる。自己の意志をキリストに任せることによって、自らを神の力に結合させ、堅く立つために天より力を受ける。弱く動揺しやすい人間の意志を神の全能の力、不動の意志と結合させる者は、すべて純潔で高尚な生活、すなわち、食欲、情欲に勝利する生活を送ることができる。…

ただ健康の原則に従って生活することによってのみ、不自然な刺激物に対する渴望から解放される。…神の力にたよると同時に、神の法律、すなわち、道徳律にも肉体の法則にも従い神と協力しなければならない。ミストリー・オブ・ヒーリング 148-152

わたしたちの高い召し

Our High Calling



天の家郷を思い出させるもの

「あなたは、ただあなたのみ、主でいらされます。あなたは天と諸天の天と、その万象、地とその上のすべてのもの、海とその中のすべてのものを造り、これをことごとく保たれます。天の万軍はあなたを拝します。」（ネヘミヤ 9：6）

どっしりしたおごそかな岩や、深い溪谷の荘厳な眺めは美しい。あたかも天にとどくようにそびえる山々は威厳に満ちている。繊細な葉でおおわれた大木、草の若芽、ふくらむつぼみ、満開の花、森の木々、そしてあらゆる生物。これらのものはみな、偉大な、生ける神に人の思いを向ける。わたしたちの全存在の機能一つ一つが、生ける神のおられることを証する。そして、わたしたちは大自然の開かれた本から、天におられる主についての最も尊い教訓を学ぶことができる。

この研究で思いは広がり、高められ、引き上げられ、そして、神と神の尊厳についてもっとよく知りたいと飢え渴くようになる。わたしたちは、自分の心にすべてよいものの与え主である方への崇敬の念と畏れを感じる思いだけでなく、このお方への愛、信仰、信頼、そしてこのお方に完全に、より頼む感情が目覚めさせられる。そして、神の驚くべきみ業を眺め、このお方の力の証拠を見る時に、わたしは思わず、「人は何者なので、これをみ心にとめられるのですか、人の子は何者なのでこれを顧みられるのですか」と尋ねる（詩篇 8：4）。

神の家におけるこれらのすばらしい事物の偉大さと栄光はすべて、思いの中で、神と、神がご自分を愛する人々のために用意しておられる将来の至福の家庭とに結び付けて考えるときにのみ、正しく理解することができる。……わたしたちは、外国のことを好んで話す一方で、なぜ天のみ国に関して、また天で永遠に続く、手で建てられたのではない家に関して話したがないのだろうか。この天のみ国は、地球上の他のどんな都市や田舎よりももっと影響をわたしたちに与えるのであるから、わたしたちはこのもっとよい国一天国一について考え、語るなければならない。わたしたちは、自然界における神の賜物に関してなぜもっと熱心に、天来の気持ちで語り合わないのだろうか。神は、これらすべてのものを造られた。そしてご自分の創造のみ業の中に、わたしたちがご自分を見出すようにと計画しておられる。これらのものが神をわたしたちの記憶の中にとどめ、わたしたちの心を快楽的なことから引き上げて、創造主への愛と感謝のきずなに結びつける。（原稿 62、1886 年）

9月2日

自然は神を語る

「わたしはいにしえの日を思い出し、あなたが行われたすべての事を考え、あなたのみ手のわざを思います。わたしはあなたにむかって手を伸べ、わが魂は、かわききった地のようにあなたを慕います。」(詩篇 143 : 5, 6)

わたしたちは、岩でできた胸壁で囲まれた古い雄大な城のようにそそり立つ、荘厳な美しさの中で非常に高く連なっている山々を見たことがある。これらの山々は、神の怒りによって荒廃していることをわたしたちに告げ、神の破られた律法の正当性を立証している。なぜならそれらは嵐のような洪水の激動で盛り上がったからである。山々は神の御声によって動くのを止められた大波一固まった大波、もっとも高慢がふくれあがったところで止められた巨大な波のようである。これらのそびえ立つ山々は神に属しており、神はそれらの岩でできた要塞を統括しておられる。山々の鉱脈にある富も、また地中深くにある富も神のものである。

もしあなたが、神がおられることの証拠を見たいなら、あなたの目につく所をどこでも見回してみなさい。神はご自分の創造のみ業を通して、あなたの五感に語りかけ、あなたの魂に感銘をあたえておられる。これらの感動を心に受け入れよう。そうすれば、自然界はあなたにとって開かれた書となり、見覚えのある事物を通して、あなたに神聖な真理を教える。そびえたつ木々も、無関心に見過すことがなくなる。咲いているあらゆる花、繊細な葉脈を持ったあらゆる葉は、偉大な大芸術家である方の無限の技量をあかししている。遠くに見えるどっしりした岩やそびえ立つ山々は、偶然の産物ではない。それらは高く上げられた宇宙の御座に座しておられるお方のことを、沈黙のうちに雄弁に語っている。「神……は、天地創造のかた被造物において知られている」。神のすべてのご計画は完全である。神の御名は何と畏怖と尊敬の念を抱かせるべきものであろうか。……

神はご自身が千歳の岩であり、ご自分の民のための避け所、嵐の時の隠れ家であり、燃える炎の中の陰であられる。このお方はわたしたちに岩山や永遠に続く丘よりも確固とした不動の御約束を与えておられる。山々は変り、丘は移っても、神のあわれみは移ることなく、神の平和の契約は、信仰によってご自分に信頼する人々から離れ去ることはない。もし、わたしたちがこれらの天に向かってそそり立つ岩山のように、断固として助けを求めて神を見上げるなら、わたしたちはこのお方を信じる信仰とこのお方の聖なる律法への忠誠から決して動かされることはない。(ビュー・アド・ヘラルド 1885 年 2 月 24 日)

思いと道徳のための学校

「彼らは、神の僕モーセの歌と小羊の歌とを歌って言った、『全能者にして主なる神よ。あなたのみわざは、大いなる、また驚くべきものであります。万民の王よ、あなたの道は正しく、かつ真実であります。』」(黙示録 15 : 3)

偉大な建設家は、自然の風景を、人間の知的、道徳的品性に重要な意味を持つことのできるものとして形づくり、創造なさった。これらは思いと道徳を教育する神の学校とならなければならない。ここでわたしたちの思いは、無限のお方の雄大なみ業を表すこの大自然の中で研究するための広大な分野を持つことができる。岩石は、知恵と知識の宝庫がはいっている大地の宝石のなかにある。岩や山には、神が大洪水で悪人を地上から滅ぼされた事実が記録されている。(原稿 73、1886 年)

人々は自分たちが神よりも賢く、エホバの教えと律法に……従うにはあまりにも賢すぎると考えた。神が彼らに与えてくださった地の富は彼らを服従へ導かず、かえって服従から遠ざけてしまった。なぜなら彼らは天の好意である選択の自由を誤って用い、神が彼らに与えてくださった祝福を彼らは神から離れる目的にしたからである。そして、彼らが自分の性質を神のようにするよりもサタンのようにしてしまったために、主は古い世界に洪水を送られた。(原稿 62、1886 年)

神は愛に満ち、恵み豊かであられるが、神がお備えになった偉大な救いの計画を無視する者に無罪を宣告するおつもりはない。ノアの大洪水以前の長命であった人々は神の律法を無効にしたために、この地上から一掃された。神はこの世を滅ぼすために、武器として天の上と地の下にある水を再びお用いになることはない。しかし神の権威を軽蔑する人々にこのお方の次の復讐が注がれる時には、天の上からの火によって激しい活動へと目覚めた、地の底に隠された火によって彼らは滅ぼされる。そのとき清められた地上から賛美の歌声が上がる。「御座にいますかと小羊とに、賛美と、ほまれと、栄光と、権力とが、世々限りなくあるように」(黙示録 5 : 13)。「全能者にして主なる神よ。あなたのみわざは、大いなる、また驚くべきものであります。万民の王よ、あなたの道は正しく、かつ真実であります」。そして、天の宝を得ることを第一に考えている人はだれでも……この喜ばしい勝利の旋律に加わる。(ビュー・アンド・ワルド 1885 年 2 月 24 日)

9月4日

神の偉大な貯水池

「山がまだ生れず、あなたがまだ地と世界とを造られなかった時とこしえからとこしえまで、あなたは神でいらせられる。」(詩篇 90 : 2)

わたしたちの天の父は、ご自分の偉大さと主権のしるしをわたしたちに与えておられる。このことは、特にこの山の多い地方(これはヨーロッパで記された)で、驚くほど感じられる。……そびえたつ山々とごつごつした高台、山の上から大きな音を立てて流れ下る急流を伴った深い山の峡谷、……岩を打つとき砕け散り、ヴェールのように広がる水などのさまざまな光景はこの景色にまったく並外れた美しさと壮大さを与えている。……

山々には、創造主が地上の住民にお与えになる祝福の宝が含まれている。偉大な主なる働きの人の知恵と力をあらわしているのは、地のおもてや、山々や平原や谷にある多様性である。だから地上から、岩や山、峡谷、急流、絶壁などを取り除きたいと思う人々―彼らの感覚は……神の威厳を理解するにはあまりにも限られている。……

偉大な設計者である神がこれらの高い山々を造られた。だから、風土に及ぼす山々の影響は、わたしたちの世界にとって祝福である。山は雲から豊かな水分を引き出す。山脈は大洋に水を供給する神の偉大な貯水池である。これらは大きな川だけでなく泉や細流また小川の源泉である。山々は、雨や雪、湿気を含んだ霧の形で受けて、乾燥した下方の平原に、これらのものをもたらす。

わたしたちは、地上のいろいろな形の山を、生き物すべてに供給するために水を流す神の祝福の泉として仰ぐべきである。わたしは山を見上げるたびに、神への感謝の念に満たされる。……

わたしたちの回りのものは皆、父なる神の愛とこのお方の力、そして自然界を治め、そして天と地にあるすべての統治権の土台である神の律法についての教訓を、わたしたちに日々教える。(原稿 62、1886 年)

わたしたちの生涯の働きにおける香り

「また、なぜ、着物のことで思いわずらうのか。野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし、あなたがたに言うが、榮華をきわめた時のソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。」
(マタイ 6 : 28, 29)

偉大な芸術家であられる方は、魂のない野の草花にわたしたちの注意を向け、一輪の草花が持つことのできる美しい色合いや驚くほど変化に富む陰影を指し示しておられる。このように神はご自身のすぐれたわざと配慮をあらわされる。このようにして、このお方はすべての人間に対して持っておられる大いなる愛を示したいと思われる。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 5 巻 1086)

わたしたちの創造主である主は、ご自分が創造なさる大いなる物と同じようにごく小さな草花の上にも、たくさんの配慮と知恵と時間を費やされる。最も小さな草花の中に、人間の芸術では模倣することのできない美と完全さが見られる。色あざやかなバラの花の繊細な網目模様は、天に輝く星と同じように偉大な芸術家であるお方の筆跡を示している。(原稿 47、1898 年)

最上の花々は……培養の利点をあきらかにしている。それらは、向上する事がわたしたちの特権であることを教える。神は、わたしたちが一生の働きの中に良い香りをもちこむことを望んでおられる。わたしたちは主の植物となり、主がいかなる方法を望まれてもこのお方に仕えるべきである。わたしたちの品性を美しくするために、全力を尽くそう。……繊細な植物にはゆきとどいた世話が必要であり、役に立たない横枝は切り捨てなければならない。傷ついた部分は、注意深く縛らなければならない。このように信仰の弱い人々には優しく成長をうながす世話をしなければならない。わたしたちは主の花園にある弱い人々をわたしたちのもっと強い目的に結びつけ、彼らを支援すべきである。

草木や花の無数の種類から、わたしたちは重要な教訓を学ぶことができる。すべての花は、形も色も同じではない。あるものは癒しの効力があり、あるものは常に良い香りを放っている。クリスチャンと公言する人で他のすべてのクリスチャンを自分と同じようにすることを義務と考える人がいる。これは人間の考えであり、神のご計画ではない。神の教会には、花園にいろいろな種類の花があるように、さまざまな品性のための場所がある。神の霊的な花園には、たくさんの種類の花がある。(手紙 95、1902 年)

主は花を養い育て、それらに美と香気をお与えになる。このお方はわたしたちに快活な気質という香りをもっとたくさん与えてくださらないであろうか。(手紙 153、1902 年)

9月6日

純潔な道徳的雰囲気

「こうして、あなたは善良な人々の道に歩み、正しい人々の道を守ることができる。」(箴言 2 : 20)

体が健康であるためには、血管を循環する血液がきれいである必要はない。血液がきれいであるためには、きれいな空気と清い食物が必要である。不適当な食事をし、不純な空気を吸うことは、さまざまな私たちの病気の原因となる。

わたしたちの宗教生活の純潔と健全は、わたしたちが受け入れる真理だけでなく、友人関係や、わたしたちが呼吸する道徳的雰囲気による。信仰、順応性と活力、希望、喜び、疑いと恐れ、怠惰、愚かさ、羨望、嫉妬、不信、自己本位、強情、背教は、わたしたちがなす交わり、続ける交友、そして呼吸する雰囲気の結果である。

間違った団体に入り続けていると、有害な結果を招く。……聖書は読み、祈りも捧げるかもしれないが、呼吸している空気が悪ければ、霊的な健康は増進せず、魂の成長もない。……信者は、神と、また神のことを教えられてきた人々との密接なつながりの中に自分を置くために、最大の注意を払わなければならない。現代の真理を信じていた人々が、サタンの網の中に足を踏みいれていくのを見るのは、心が痛む。……

わたしたちは、現代の真理を信じるすべての信者に声を大にして叫ぶ。もしあなたが霊的な健康を持ちたいのであれば、あなたの肺に気をつけなさい。あなたの霊的食物に気をつけなさい。もし魂の命としてあなたの内にキリストを形づくりたいのなら、純潔で、善良な人々との社交を愛する愛を培いなさい。魂の健康は良い道徳的な空気を呼吸することにかかっている。(手紙 1、1882 年)

偉大な医師キリストは、あらゆる信者に処方を与えておられる。信者は神の御言のうちに用意されている食物を食べなければならない。そして、神と人への愛によって働く信仰は、わたしたちが食する食物ばかりではなく、呼吸する空気にも依存している。もしわたしたちが悪い仲間と交わるなら、わたしたちは罪のマラリヤに毒された大気を呼吸するのである。イエスに従う柔和で謙遜な人々と交わることによって、純潔で聖なる大気を呼吸するよう気をつけなさい。(原稿 60、1901 年)

選択力を持ちなさい！

「実を結ばないやみのわざに加わらないで、むしろ、それを指摘してやりなさい。」
(エペソ 5：11)

クリスチャンは、自分の魂にとって罠となる人々とのつきあいから身を引かなければならない。道徳的な感覚がことごとく正道から外れているために、あなたが純潔で聖なる雰囲気の中に引き上げることでできない人々と接することになるとき、あなたは彼らとの交わりを避けなければならない。このたぐいの人々は一般に強い意志と積極的な気質を持っているので、神の敵によって働きかけられると、義の道から誤った危険な道へと魂を導く有力な働き手となる。これらの魂を取り巻く道徳的な雰囲気は悪に染まっており、ただ汚れた影響だけを他に及ぼす。(エース・インストラクター 1892 年 9 月 29 日)

あなたのつきあう仲間は、かならずしも不完全さや罪のまったくない人々であることを期待することはできないかもしれない。しかし、友人を選ぶ時に、あなたは自分の基準をできるだけ高くしなければならない。あなたの道徳的品格は、あなたが選ぶ仲間によって評価される。あなたは、自分が真似るつもりのない手本を示す人々との親しい交わりを避けなければならない。……

宗教とその実際的な影響力に高潔な考慮をしている人々を、あなたの仲間として選びなさい。来世を絶えず視野にとどめなさい。あなたの交際があなたの思いからこれらの考えを取り去ることのないようにさせなさい。虚栄心の強い人、不注意な人、宗教心のない人との親しい交わりほど、厳粛な思いを効果的に消すものはない。もしそのような人が宗教を軽率にあるいは無関心に扱うなら、彼らがどのように偉大なことを知的に達成することができても、あなたの友として選ぶべきではない。他の点に関する彼らの方法に深くかかわればかかわるほど、あなたは彼らの同行の友としての感化を恐れなければならない。なぜなら彼らは無宗教の、神を認めない、不敬虔な感化力をあなたのまわりに投げかけ、そのうえ道徳上たしかに危険を及ぼす、非常に多くの魅力あるものをその感化力に結びつけるからである。(手紙 17、1878 年)

ダニエルのようにになりなさい。ただ一人であつても立ちなさい。……悪い同行の友の前で臆病に、沈黙を守るかわら、彼らのたくらみに聞き従うなら、あなたも彼らの仲間の一人になる。……義を行うために勇気を持ちなさい。(SDA パイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 3 巻 1155)

9月8日

あなたの愛情を守る

「不信者と、つり合わないくびきを共にするな。義と不義となんの係わりがあるか。光とやみとなんの交わりがあるか。」(コリント第二 6:14)

あなたが自分の愛情を何処に向けているかに注意するようにと、わたしはあなた(若い女性への勧め)に警告したい。……あなたの命はイエスに属しており、あなたは自分自身のために生きるべきでないことを覚えていなさい。あなたは未信者と結婚の関係に入ってはならない。なぜなら、そうすることによって、あなたはキリストが命じておられることに対してまさに逆らうからである。不敬な人々を避けなさい。怠惰を好む人や、聖なる事柄をあざける人を避けなさい。冒涇的な言葉を使う人、あるいは一杯の酒でもたしなむ人との交際を敬遠しなさい。神に対する自分の責任を自覚しない人の結婚の申し込みに耳をかしてはならない。

魂を聖化する純粋な真理は、神を愛しもしなければ畏れもせず、また真の義の原則を少しも知らないことをあなたが知っているもつとも楽しい知人から、あなた自身を断ち切る勇気を与える。わたしたちは、いつでも友人の欠点や無知をしのぶことはできるが、決してその人の悪徳をしのぶことはできない。決して不信者と結婚してはならない。

わたしはただ神のみ言葉をあなたに伝えている。なぜなら神は、このような結合は、神を愛し、このお方に奉仕することからあなたの心を引き離す結果になると宣言しておられるからである。……神の子供として、あなたはただ主にある婚約を結ぶことを許されている。……あなたは自分の生涯を不信者の生涯と結びつけることに同意すべきだろうか。そうするならあなたは神の御言を無視するようになり、魂を危険にさらすことになる。……

あなたの命は、小さな価値のものとして取り扱われるには、あまりにも尊いものである。カルバリーはあなたの魂の価値をあなたに証言している。(手紙 51、1894 年)

結婚の縁組に至るまでの一步一步は、しとやか、単純、誠実、そして神に喜ばれ、このお方をあがめるといふ、熱心な目的で特徴づけられるようにしよう。結婚はこの世と来世両方の命に影響を及ぼす。誠実なクリスチャンは神が承認することのできない計画を立てることをしない。……キリストをあなたの相談相手として、祈りながらこのお方のみ言葉を研究しなさい。(ミストリー・オブ・ヒーリング 359)

あなたは仲間を選ばなければならない

「だから、『彼らの間から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。そして、汚れたものに触れてはならない。触れなければ、わたしはあなたがたを受け入れよう。』」(コリント第二 6:17)

真のクリスチャンは、改心していない人を仲間としない。もし栄光の望み、キリストが自分の内に形づくられているなら、わたしたちは不信仰な人々の魂を取り囲んでいる霊的マラリヤの雰囲気を楽しむことはできない。……

霊的な事柄に全く反対するあなたの知人は、真理の実践によって、精錬され、気高くされ、高められることはない。彼らはキリストの指揮の下ではなく、暗闇の君の黒い旗の下にいる。神を恐れもしなければ、愛することもしない人々と交際するのは、もしあなたが、彼らをキリストに勝ち取るという目的の交際でなければ、あなたの霊性に害をもたらす。もしあなたが彼らを引き上げることができなければ、彼らの感化があなたの信仰を墮落させ、腐敗させる影響をあなたに与える。彼らを親切に扱うというのは、あなたにとって正しいことであるが、あなたが彼らとの交際を愛し、選ぶのは、あなたにとって良いことではない。なぜならもしあなたが彼らを取り巻く雰囲気を選ぶなら、あなたはイエスとの親密な交わりを失うからである。あなたの力のかぎりを尽くして、罪を抑圧するよう努めなさい。しかし、一瞬たりとも、あなたの行動、言葉、または沈黙、あなたの存在によって罪を容認してはならない。罪が、キリストに従うと公言する人によって是認されるたびに、彼の罪に対する感覚は弱まり、彼の判断力は、このようにして正道から外される。……

主イエスは、敵の領分に自分の身をおき、自分が崇敬し愛する神に敵対するような会話や行いを好む人々の社会にとどまるどのような魂をも守ることはおできない。……

精神を高める傾向の人や、魂が純潔で聖なる雰囲気に包まれている人のそば近くにいなさい。……あなたは世から離れ、そしてあなたを真理から引き離す感化力から離れたゆえに、神はますますあなたの心に近づき、ますますあなたの思想の中におられるようになる。……そしてあなたはサタンのわなに取り囲まれることが少なくなるのである。(手紙 51、1894 年)

9月10日

友なき人の友

「あぶらと香とは人の心を喜ばせる。友の心よりの勧告は、このように美しい。」(箴言 27:9 欽定訳)

わたしたちは、他の人に公平で誠実な関心を持つようにするキリストの愛を心に持たなければならない。わたしたちの愛情は広い範囲にわたるべきであって、特別に信頼してわたしたちを喜ばせる数名の人にだけ集中すべきではない。このような友情の傾向は、わたしたちが自分の愛情を与えている人よりも、はるかにもっと愛を必要としている人のことを無視するように導く。

わたしたちは、数名のお気に入りの人が、彼らの愛情を口に出して、わたしたちの機嫌を取り、喜ばせるからといって、わずかの友人のために、友人の範囲をせばめるべきではない。あまりにもしばしば取り交わされている部分的な関心は、神に仕えようとする人々の最善とはならない。人は力を求めて他の人に頼るようになり、神の恵みによって満たされるべきところを、他の人から受ける賞賛やへつらいや愛情が満たすようになる。このようにして、世俗の友は、あなたの愛情をキリストから取り去る。……人間的な相談相手、人間的な交際は、神にだけ与えられるべき愛と信頼を吸い取ってしまう。……

あなた自身が気に入られる者になろうとする代わりに、あるいは高い評価を得ている人にへつらおうとする代わりに、好かれていない哀れな子供、だれから特別な親切を示されない子供がいなかどうか見てみなさい。そしてその子供をあなたの無私の注目の対象としなさい。特別に魅力的な人々は友を失うことはない。その一方では、外観がそれほど魅力的でない人、臆病で知り合いになるのが難しい人々は、品性のもっとも良い性質を持っているかもしれない。そして彼らはキリストの血によって買い取られた人々である。(ユース・インストラクター 1893 年 5 月 25 日)

不安、ホームシック、孤独な感情は、あなたの益となることができる。あなたの天の父は、ご自身のうちに、友情と愛、そしてあなたの最も切なる希望と願いを満足させる慰めを見出すようにと、あなたに教えるおつもりである。……あなたの唯一の安全と幸福は、キリストをあなたの変わらない相談相手とすることのなかにある。もしあなたがこの広い世界に他に友がいなければ、キリストにあって幸福になることができる。(手紙 2b、1874 年)

用いることによって増し加わる恵み

「あなた自身を良いわざの模範として示し、人を教える場合には、清廉と謹厳をもってし、非難のない健全な言葉を用いなさい。そうすれば、反対者も、わたしたちについて何の悪口も言えなくなり、自ら恥じいるであろう。」(テトス 2：7, 8)

健全な、そして成長するクリスチャンは、同胞の間で活動的でない、受ける人にはならない。彼は受けるのと同様に与えなければならない。わたしたちに与えられる恵みはそれを用いることによって増し加えられる。クリスチャン社会はわたしたちに呼吸するための純潔な空気を供給する。だからそれを呼吸して、活動的でなければならない。実行されたクリスチャンの働き、必要としている人々にわたしたちから与えられる同情、励ましと助言、クリスチャンの働きに必要であり、また発揮される自制、愛、忍耐、そして寛容は、わたしたち自身のうちに神への信仰、服従、希望、そして愛をつくり出す。……魂が活動することが、霊的筋肉と力強さに不可欠である。働きは、よいことをするための機会を活用する中で、霊的な活動を推進することによって果たさなければならない。……クリスチャンの義務を果たすことにおいて忠実であればあるほど、その人は健全に成長していく。

.....

弱さと優柔不断によって、クリスチャンの告白が尊敬を受けることは決してない。あなたの誠実さと敬虔で、ある確信が人々に吹き込まれない限り、その人々のいるところで会い、彼らを高めることはできない。あなたが真理と改革の土台から降りることによって、彼らの心に触れることは決してできない。そうではなく、神のみ言葉があなたに備えてくれた土台に彼らを連れ上ることによってできるのである。わたしたちの信仰に反対する人が、いついかなる場合にもその信仰を告白するあなたが熱心で、確固として、墮落していないことを見、またあなたがキリスト、すなわち生けるぶどうの木に宿り、真理と改革に揺るがず従う者であることを見るならば、あなたはキリストの精神と品性を反映するのである。あなたの仕事において、信者や不信者との交わりにおいて、聖所において、家庭において、またあらゆる場所で、あなたは救い主の愛の感化力を示し、そこには信徒たちを支配する感化力があるのである。

天才、タラント、金銭は、この感化を及ぼすために不可欠なものではない。しかしあなたがキリストの内に宿っていること、そしてこのお方があなたの内に宿っておられることは不可欠である。なぜなら、こうしてあなたは義に実を結ぶようになるからである。(手紙 1、1882 年)

9月12日

世において成功する

「あなたは、年が若いために人に軽んじられてはならない。むしろ、言葉にも、行状にも、愛にも、信仰にも純潔にも、信者の模範になりなさい。」(テモテ第一 4:12)

少年時代、また青年時代—この猶予の期間にどれほど多くのことがここにかかっていることであろう。愛する青年たちよ、神は、あなたがたが、み働きにふさわしくなることによって、この期間に向上することを望んでおられる。もしあなたに教育が必要なら、それを得ようと決心して働きにとりかかりなさい。道が開けるまで待つてはならない。自分自身で切り開きなさい。あなたの前に開かれた道は、どんなに狭くても進みなさい。どんなに小さな事であっても、あなたが手をそめることは、何であっても徹底的に忠実にしなさい。

わたしたちの青年のある者は、非常に優柔不断なので、自分で何も成し遂げることができない。彼らの一生は、自分が何をすべきか、また自分が何になるのかを決定する前に、しばしば半生を過ごしてしまう。彼らは自分のタラントをごみの山の下に葬っている。このような人々に、わたしは「儉約しなさい」と言いたい。あなたがたの財産を、食欲を満足させ、快楽を求めることに費やしてはならない。世において成功しなさい。神があなたがたに命じておられるように、有用で有能な者になるという目標を持ちなさい。あなたがたが自分の得る知識を活用するとき、知識を深めることができる。あなたがたが書物や有用な労働に専念するとき、熱心なクリスチャンの献身と神への忠誠が結合すると、あなたがたを最高の意味においての男女とする。科学の研究と結びついた神への真の献身は、青年たちをやさしく謙遜な、神を愛する者とし、不十分な見せかけではなく、憐れみと良い実に満ちた者とする教育を彼らにさずける。神と自分の同胞への愛に香るこのような魂を、神は誉れのための器としてお用いになることができる。(ユース・インストラクター 1897 年 6 月 24 日)

愛する青年たちよ、イエスはあなたがたを罪のうちに救うのではなく罪から救うために死なれたのである。救い主はあなたがたの前においておられるご自分の模範—自己を否定し、日々あなたの十字架を負い、ご自分に従うこと—にあなたが従うようにと望んでおられる。このお方はあなたの奉仕、あなたの心の最高で最も聖なる愛情を要求しておられる。もしあなたがこのお方のみ旨、このお方のみ摂理の教訓を快活に勤勉に学びつつ、イエスのみ旨に服従して歩むなら、まもなくこのお方は、「子よ、あなたのためにわたしが用意している天の住宅にあがってきなさい」と言われる。(ユース・インストラクター 1897 年 7 月 15 日)

家庭は訓練の場

「わたしをあなたの戒めの道に導いてください。わたしはそれを喜ぶからです。」
(詩篇 119 : 35)

人々はこれまで神の律法は廃されたと教えてきた。もしそうなら、わたしたちには品性の基準がなくなり、神の正しいご要求をわたしたちに示すものは何もないはずである。わたしたちは不確かさという大海を漂わなければならない、また、家族関係の厳粛な責任を果たす指針も持たないことになる。しかし、一般にわたしたちが、同胞へのふるまいにおける訓練をうけるのは家族の中である。もし神が知的存在者である人間を支配する律法を持っておらず、人類家族が自分たちの品性をかたちづくる模範として、ご自分の品性を現すことのできるものを何も持っておられないとしたら、正直な生涯と完全な品性を構成している事柄に関して、子供たちにいったいどのような印象を残すことができるだろうか。……

第五条の戒めは子供たちに両親への服従を命じている。そして両親は、子供たちが青少年時代に要求されている服従において、神と協力しつつ、自分の分を果たすことによってこの戒めを守るように助けなければならない。両親自身が常に神の支配のもとにいななければならない。彼らは子供たちの前に模範を示し、堅固さの混じった忍耐と寛容をあらわしつつ、品性の大切な特質を見せ、このようにして子供たちが天の父に服従するよう教育しなければならない。……サタンは、秩序がなく治められていない家族を見るのを喜ぶ。彼の成功は、彼が地上の家族を支配することに、大いにかかっているからである。……彼は義の標準が品性形成のものさしとならないようにしようと堅く決心している。……

十戒は、心が愛に満ち、無限の知恵を持ち、絶対に過ちを犯さないお方、天の神から与えられたものである。このお方は失敗するには賢すぎる方であり、ご自分の要求に従おうとする人々を害するには、あまりにも善良なお方である。エホバの律法に服従し、これを行う人々に、祝福がついてくる。……この世における両親と子供の幸福と平安、そして最善の利益は、神の教訓の道を歩くことによってもたらされる。そうすることによって彼らが天の神と調和するようになるからである。(手紙 34、1884 年)

9月14日

真の幸福の源を教えよ

「子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。」(箴言 22:6)

適切な抑制を訓練することを怠ることによって、多くの両親は子供たちに大きな不幸を造り出している。絶えず娯楽に喜びを求め、利己的な満足を求めるがままにされている青年は、幸福ではない。また、そうしている間は、決して幸福になれない。両親方よ、真に幸福になれる唯一の方法は、神を愛し、畏れることにあることを子供たちに教えなさい。それもあなたの模範によってその教訓を行わせなさい。キリストの平安があなたの心の中で基調をなしており、このお方の愛があなたの生活に満ち溢れていることを彼らに見させなさい。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1889年1月7日)

あなたは聖化する感化を自分の子供たちに及ぼすために、あなた自身の心を神にささげているのだろうか。あなたは彼らを罪悪や罪人から引き離し、生ける信仰によって彼らを神に結びつけているだろうか。子供達の内に善であり、真実であり、気高いことをすべて培うことが、あらゆる親の働きでなければならない。子供たちの過ちを正し、わがママを抑制するのは親の義務である。……

絶えず、何が子供たちの将来にとって善であるかを良く考えながら、子供たちを教育するにあたって、神の御言をあなたの道案内としなさい。……母親は娘に家族の負担を共に負わせる訓練をすることによって、計り知れないほど貴重な教育を与えることができる。父親は息子に、娯楽や放蕩の楽しみに幸福を求める代りに、有用な仕事を愛することを教えることによって、黄金や土地よりも価値のある資産を彼らに与えることができる。両親方、今はあなたの子供たちの内に勤勉、独立独行、そして自制の習慣をつくりあげ、経済観念と事務的手腕を育てる時である。今は、子供たちに同胞への礼儀と親切心、そして神への敬神と愛を教える時である。……家庭は、この地上で最も明るく魅力のある場所でなければならない。そしてそれは、心地よい言葉と親切な行為によって、またそれらすべての基として、正しいことを固く守ることによって作ることができる。……

わたしたちのためにご自身の尊い命を与えてくださったお方に、何一つ差し控えることのないようにしよう。両親方よ、このお方のところへあなたの子供たちを、青年期のはつらつとした、育ち盛りのときに連れて行き、このお方の奉仕へ彼らをささげなさい。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1889年1月7日)

服従、偉大さの一要素

「子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである。」(エペソ6:1)

イエスは青少年時代への完全な模範を与えておられる。パターンであるキリスト・イエスを研究し、そして、もしあなたがこのお方—純潔で聖なる、罪のない、汚れていないお方—のようになりたいのなら、このお方を手本としなさい。キリストの少年時代を研究しなさい。このお方は神の御子であられたが、聖書の記録は、エルサレムから帰られて両親にお仕えになったと書いてある。……

世の贖い主イエスは、たとえその仕事をご自分の考えに合わなくても、言われたように実行なされた。服従は真の偉大さの要素の一つである。即座に服従することを学んでいなかった人は、だれも本当に善であって偉大な人になることはできない。……

あなたの両親の願いに対して、あなたが自分の思うようにしたいという誘惑を受けた時に、「いいえ、キリストは両親にお仕えになった」と言いなさい。あらゆる子供、あらゆる青年の受ける誘惑を知っておられるイエスに助けを求めなさい。なぜならこのお方は誘惑されたことがあり、あなたのあらゆる弱さを知っておられ、あなたがそれに打ち勝つのを助けてくださるからである。……

有用な者となり、あなたの両親を助けようと努めなさい。世話をするように、考え深くなるように努力しなさい。あなたはあらゆる方法で両親を助けることができる。……あなたが両親の重荷を軽くするために、何かをすることができるがゆえにあなたの顔を喜びで輝かせて、快活に、速足で、行うことのできることをすることは、あなたを家庭の中の祝福とする。……

忠実になされたこれらの小さな義務はすべて、天の記録にのせられる。……神は誤られる方ではない。あなたが神の栄光のために果たした生涯の義務をすべて、神は正確に記載登記なさる。だから決して顔をしかめないで、いつも快活で幸せそうな顔をし、すぐに手助けの出来る手、求めが聞こえる注意深い耳、服従する心、助けを必要とする人々に対するすみやかな同情を持ちつづけなさい。……

あなたの品性はまだ完成されていないことを覚えなさい。あなたは日々品性を築いているのである。親切、服従、思慮深さ、勤勉をすべて織り合わせ、それにできるかぎりの愛を加えなさい。神聖な模範に従いなさい。神の御目に最も価値のある柔和で静かな精神という飾りを身につけることができるように、あなた自身を教育しなさい。もしあなたが自分にできる最善だけを尽くすなら、そう生きることによって、あなたは世界をより良くすることができる。(手紙 17、1883 年)

9月16日

体という聖なる宮

「あなたがたは知らないのか。自分のからだは、神から受けて自分の内に宿っている聖霊の宮であって、あなたがたは、もはや自分自身のものではないのである。あなたがたは、代価を払って買い取られたのだ。それだから、自分のからだをもって、神の栄光をあらわしなさい。」（コリント第一 6：19, 20）

主の要求なさる品性の完全というのは、人全体を聖霊の内住する宮として整えることである。神は人間の全存在をかけての奉仕以下のものをお受け入れにはならない。生きた機械であるからだのある部分を活動させるだけでは充分ではない。すべての部分が完全な調和のもとに働かなければならない。そうでなければ、奉仕は欠陥のあるものとなる。世にキリストを表すことにおいて、人が神と協力する資格があるというのは、こういうことである。このようにして、神は民がご自分の前に純潔で清く立つように望んでおられる。それはこのお方が彼らを天使たちの交わりに入れることができるためである。（ビュー・アズ・ヘルド 1901年11月12日）

わたしたちは、かつてこの世に与えられたなかで、最も厳粛なメッセージをゆだねられている。そしてわたしたちの思いにはつきりとまた疑いもなく持ち続けるべき目標は、神の栄光である。わたしたちの肉体的、精神的、霊的健康を弱めることは何もしないように気をつけよう。神は、汚染された、病気の、腐敗した犠牲をお受けにはならないからである。食べること、飲むこと、服装、働きにおいて細心の注意を働かせなければならない。わたしたちは、自分の骨折りの結果が永遠に続くことができるために、わたしたちの有用性を損なわないよう、わたしたちのもっとも高められた働きを最上の方法で行うことに失敗しないよう、細心の注意を払わなければならない。

わたしたちが主なるお方にできるかぎり最高の奉仕をするために、からだを訓練し、鍛えることはわたしたちの義務である。わたしたちは食欲に任せ、ただ味覚を満足させるからと、わたしたちの善とならないものをほしいままに用いるべきではない。わたしたちが霊的な思いを持つようになり、神があがめられると考えて、飢餓の計画を立てて生きようと努力をするべきでもない。わたしたちが体、魂、また霊において完全になることができ、釣り合いの取れた品性、よくバランスの取れた思いを持つことができるために、そして主なるお方のために完全な働きをすることができるために、わたしたちは、神が与えてくださっている知性をを用いなければならない。（原稿 60、1894 年）

からだという聖なる宮は純潔に、また汚さないように保たなければならない。それは神の聖霊がそこに内住することができるためである。（手紙 103、1897 年）

放縱へ確実にくだる罰

「もし人が、神の宮を破壊するなら、神はその人を滅ぼすであろう。なぜなら、神の宮は聖なるものであり、そして、あなたがたはその宮なのだからである。」(コリント第一 3:17)

自然の法則が無視されるとき、品性の完全に到達することはできない。これは神の律法への違反だからである。神の律法は、神ご自身の指によってわたしたちの体のあらゆる神経、筋肉、繊維組織、人にゆだねられているあらゆる機能の上に記されている。これらの賜物は、乱用し、墮落するためではなく、人類を向上させることにより、神に名誉と栄光を帰すために用いるようにと与えられている。……

思いと体の間に存在する関係は非常に密接である。一方が冒されるともう一方がいつも多かれ少なかれ同情する。人にとって、罪深い、健康をそこなう習慣の力のもとにしながら、聖なる真理を正しく理解するのは不可能である。知性が曇らされると、道徳力は弱まり、罪が罪深く見えなくなる。神の御言の最も高尚で偉大な、栄光に満ちている主題が、単なる根拠のない物語のように思える。そういう時にサタンは心にまかれた良い種を簡単に奪い去ることができる。なぜなら魂は良い種の真の価値を悟り、理解する状態にないからである。利己的な、健康をそこなう放縱は、人々を神の大いなる日のために備えさせるメッセージの感化に逆らっている。

わたしたちはこの地上歴史の最も厳粛で恐るべき時に生存している。体の法則の違反を通して、その生活が不注意で自ら墮落した魂は、まもなくわたしたちに臨もうとする大いなる試みの日に、だれ一人として立つことはできない。人間の体にほとんど関心を持たず、これを無情に取り扱う人々は、神に恐るべき報告を差し出さなければならない。……真の宗教と健康の法則は手に手をとって進む。(レビュー・アンド・ヘルド 1901年11月12日)

どのような状況の下でも、都合が良いからと、もっとも厳密な正直からほんのわずかでも離れることは良心を頑なにし、他の方法における道徳上の義務に違反する道を備える。もしわたしたちが、この世でもっとも関心を持っている体の健康を、当然払うべき考慮をしないで取り扱うなら、わたしたちは誘惑への道と もっと高い要求に違反する道を備えるのである。(手紙 29a、1875年)

9月18日

健康改革の光

「愛する者よ。あなたの魂がいつも恵まれていると同じく、あなたがすべてのことに恵まれ、またすこやかであるようにと、わたしは祈っている。」(ヨハネ第三 2)

神が健康改革に与えておられる光は、わたしたちの救いと世の救いのためである。男も女も創造主の住まわれる場所としてお備えになった人間のからだについての知識を与えられ、神が望まれるように忠実なからだの管理人となるべきである。……わたしたちの体はくすしく造られており、主はそれを健康に保つよう、わたしたちに命じておられる。すべての者は、主に対して体を健康的に健全に保つ義務があるが、それはあらゆる筋肉、器官を神の奉仕に用いることができるためである。もし人が神に逆らって働く代わりに、神と協力するなら、からだの驚くべき構造を形づくられた神は、それを健全に保つために特別な配慮をなさる。

これらの壮大な真理が世に与えられなければならない。わたしたちは、人々のいる所で彼らに接し、模範と教訓によって、よりすぐれた道の美しさを見るよう、彼らを導かなければならない。この世界は、これらの方針に沿った指導が必要な悲しい状態にある。どの魂も神が与えておられる光のあらゆる光線に忠実、また誠実でなければならず、人々に健康についてのこの福音を伝えることを熱心に始める時がすでに来ている。わたしたちが、自分自身の生活でこれらの真理を実践するなら、これを行う力と力強さを得ることができる。……

このあわれみのメッセージに従うことによって自分たちにもたらされる尊い祝福を楽しんでいる人々は、他の人々が同じ祝福を分かち合うことができるために、力をつくすのである。しかし、わたしたちはサタンがこの時代にこうした改革のメッセージの類が一切世に与えられることがないように力をつくして妨害していることを確信してまちがいない。神の民は、自らそのメッセージに注意を払わなかったり、あるいはそのメッセージを他の人々に与えるのを怠ったりすることによって、敵の側にいることを見出されるのであろうか。「わたしの味方でない者は、わたしに反対するものであり、わたしと共に集めない者は、散らすものである(マタイ 12:30)。わたしたちは、もし安全でいたいのなら、自分がどちらの側に立っているかを知らずにいてはならない。(ビュー・アンド・ハルド 1901 年 11 月 12 日)

神は、ご自分の光を掲げる人々が、自分たちの前にたえず高い標準を保つことを望んでおられる。彼らは教訓と模範によって、この完全な標準をサタンの間違った標準よりも高く掲げなければならない。(ビュー・アンド・ハルド 1901 年 11 月 12 日)

全き民

「だから、飲むにも食べるにも、また何事をするにも、すべて神の栄光のためにすべきである。」(コリント第一 10:31)

わたしたちは神の栄光だけに目を留めて、飲むにも食べるにも考え深く注意深くすべきである。本当に平凡な日常の習慣でさえも、わたしたちは神の指導を必要としている。誤った欲望を満たすために、全く不必要と思える消費がされるが、そういうところから少しの漏れがないようにすべきである。神の要求されていることは、新約聖書においても、その拘束する力を失っていないし、果たさねばならない義務は少しでもゆるやかにされているわけではない。……神のご要求は、新約聖書においてゆるくされるかわりに、もっと精密な線が引かれ、よりはっきりと明白にされている。使徒は、「何事をするにも」それは食べたり飲んだりすることにおいてさえも「すべて神の栄光のためにすべきである」と命じている。しかし、こういう質問が出るかもしれない。「自分の好きなことをしてはいけないのか」「自分の好きな道を進んではいけないのか」「わたしのからだはわたしのものではないか」と。たしかにあなたは自分の好きなことをすることができるが、それはあなたの魂を失う結果になるであろう。そうではなく、あなたは神の道を選び、この世においては目的をもって生活し、来たるべき世界では永遠の命を受けることもできるのである。(原稿 60、1894 年)

肉食をしたり、コーヒーやお茶を常用したり、またぜいたくで不健康な食事を用心することが悪習であるという教えを受け入れた人々、また犠牲を払っても神と契約を結ぼうと決心する人々は、彼らを不健康にする食物への欲望にいつまでもふけろうとはしないであろう。神のご要求は食欲が清くされることであり、そして良くない食物についての自制を実行することである。これは、全き民として神の前に立つことのできる彼の民が、成し遂げなければならない働きである。……健康改革を信じていると主張していながら、日常生活がその原則に反する人々は、それによって自分の魂を傷つけるばかりか、信者の心にも不信者の心にも悪い印象を与えるのである。(教会への証 9 巻 153, 154)

神がお与えになったあなたの肉体的、知的、道徳的力のどの一つでも誤って用いたり、悪用したりしてはならない。あなたの習慣のすべてが、神によって支配される心の監督のもとにおかれねばならないのである。(手紙 103、1897 年)

9月20日

節制の習慣の報償

「ダニエルは王の食物と、王の飲む酒とをもって、自分を汚すまいと、心に思い定めた」(ダニエル 1:8)

靈感によってダニエルと彼の友達の歴史は、後世のすべての青年たちの輝かしい模範として記録された。……神への奉仕のために自分の力が損なわれないように保ちたいと望む人々は、このお方のあらゆる賜物を用いる際に厳格な節制を守り、また同様に有害な品性を墮落させる放縱を完全に断たなければならない。

青年は食欲にうったえる誘惑に取り囲まれている。……ダニエルのように、自分を汚すことを拒む人々は、自分たちの節制の習慣の報いを刈り取るようになる。彼らにはより優れた肉体的持久力と増強された忍耐力があるので、危急のときに引き出せる銀行預金があるのである。

正しい肉体的習慣は、精神的な卓越さを促進する。知力、体力、そして寿命は、不変の法則にかかっている。この事柄については、偶然とか、チャンスとかは存在しない。天の権力者たちは、自然の法則に違反した結果から人間を保護するために介入されることはない。(サイズ・オブ・ザ・タイムズ 1882 年 3 月 2 日)

すべての青年は、次のような質問をすべきである。……わたしは自分の傾向に相談して、自分の食欲をほしいままにしているであろうか、あるいは良心の指示に従い、頭脳や体力に弱さをもたらすような一切の習慣を断ち切ることによって、自分の頭脳を明晰に保ち、体力を維持しているだろうか。自分は世的な習慣の餌食となっているだろうか、……あるいは結果として品性を低下させるすべての習慣から離れているだろうか。自分は世を喜ばせるよりは、むしろ神をあがめないのであろうか。……

ダニエルと彼の友人は、原則が危機にさらされていること、また誘惑者と少しも妥協できないことを自覚した。神のみ座から反射している光と真理は、彼らにとって、人が与えるいかなる誉れよりも大事であった。バビロンに捕えられたユダヤの青年たちと同じように確固として真実な者となり、同じようにつつしみ深く成功した者となることは、今日の青年たちの特権である。……神はダニエルを尊ばれた。そして、このお方は、神をあがめるためにダニエルが取った道を選ぶすべての青年を尊ばれるのである(ユース・インストラクター 1894 年 10 月 25 日)

健全な精神は、健全な肉体に宿る

「すなわち、自分のからだを打ちたたいて服従させるのである。そうしないと、ほかの人に宣べ伝えておきながら、自分は失格者になるかも知れない。」(コリント第一 9:27)

肉体的活力を損なうものは、何であろうとも精神的努力を弱める。そのために、肉体の健康を害するすべての習慣を断固としてやめなければならない。……わたしたちは、故意に悪習慣にふけることによって自分たちの健康を損ないながら、神への献身を維持することはできない。自己否定は、キリストへの奉仕を始めるための条件の一つであるばかりではなく、それを続けるための条件の一つでもある。……

しかし、どれほど多くの自らクリスチャンと名乗る人々が、キリストのためにでさえ、自己否定を実行することに気乗りがしないことであろう。どれほどしばしば、健全な肉体に宿る健全な思いをもちたいという願望よりも、致命的な放縦への愛着の方が強いことであろう。目を楽しませたり、食欲を満たしたりするために、貴重な恩恵期間が費やされ、神のたまわる資金が浪費される。……

だれひとりとして、この克己という働きに失敗する必要はない。神は真剣に求めるすべての人に助けを与えて下さる。……もしわたしたちがまごころから神の恵みを求めるならば、わたしたちの生活は信仰の告白と一致するであろう。……神は、わたしたちの心が神の奉仕にことごとく献身しているか、あるいは世俗の事柄に向けられているかをご存じである。わたしたちは自分の望むことを告白することはできるが、その告白が生活と一致していないかぎり、その信仰は死んでいるのである。使徒パウロによって示された基準は、生活上のあらゆる事柄において、わたしたちの唯一安全な指針となる基準である。「飲むにも食べるにも、また何事をするにも、すべて神の栄光のためにすべきである」(コリント第一 10:31)。わたしたちは食物の選択にあたって、ただ単に味覚を喜ばせることだけを求めないで、一番健康的なものを選ばなければならない。服装においても、質素で、着心地がよく、便利で、かつよく似合ったものを求めるべきである。(レビュー・アンド・ヘルド 1886 年 1 月 15 日)

食欲を制し、感情を支配して、すべての習慣に単純さを守ろうとする人は、自分の精神力を強く、活発に、そして生き生きと保ち、考察や行動を要するすべてのことをすばやく感知し、聖なるものと汚れたものを見分ける識別力が鋭く、そして神の栄光と人類の利益のためにどんな事業でもたずさわる用意ができているのである。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 2 巻 1006)

9月22日

服装にあらわれる相違

「また、女はつつましい身なりをし、適度に慎み深く身を飾るべきであって、髪を編んだり、金や真珠をつけたり、高価な着物を着たりしてはいけない。むしろ、良いわざをもって飾りとすることが、信仰を言いあらわしている女に似つかわしい。」
(テモテ第一 2:9, 10)

イスラエルの子らは……彼らを周囲の民と区別し、また神の特別な民であることを示すために、その着物のすそに単純な青いひもをつけることが命じられていた(民数記 15:39, 40 参照)。神の民は今日、服装に特別なしるしをつけることを要求されてはいない。しかし新約聖書では、しばしば模範として古代イスラエルが言及されている。もし神が服装に関してこのようにはっきりした指示を古代の神の民に与えられたとすれば、今日の神の民の服装に、このお方が注意を払われないことがあろうか。彼らの服装は、世の服装とは区別されているべきではないだろうか。神の特別な宝である神の民は、服装においても神に栄光を帰すことを求むべきではないだろうか。そして、神の民は服装の点において模範となり、その単純なスタイルによって、世俗的で娯楽を愛する信仰公言者たちの誇りや贅沢を譴責すべきではないだろうか。神はこれをご自分の民に求めておられる。誇りは神の言葉で譴責されている。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 1 巻 1114)

わたしたちは、世の流行について知るよりも、もっとイエスとこのお方の愛について知らなければならない。わたしはわが主の名によって、青年たちに主の模範を学ぶよう求める。あなたが何かを作りたいとき、型(パターン)を注意深く研究し、できるだけそれを再現できるようにする。だから、神なる模範者を模倣(コピー)する働きにとりかかりなさい。……自分の心に誇りをいだいていながら、イエスのようになることはできない。……

ああ、キリストの柔和やうるわしさに比べれば、金や真珠や貴金属の飾りなどなんと価値のないことだろう。自然の美しさは、均整すなわち各部がお互いに調和のとれたつり合いのうちにある。しかし、霊的な美しさは、わたしたちの魂がイエスと調和していること、すなわち似ていることのうちにある。これはその所有者を精錬された金よりも、オフルのこがねよりも尊いものにする。キリストの恵みはじつに値のつけられない飾りである。それはその所有者を高め、高貴にし、他の人々に栄光の光線を反射し、彼らを光と祝福の源なるお方へ引きつけるのである。(ビュー・アンド・ヘラルド 1881 年 12 月 6 日)

単純の美

「すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、持ち物の誇は、父から出たものではなく、世から出たものである。」(ヨハネ第一2:16)

服装の誇りは小さな問題ではなく、深刻な悪である。それは体を飾るために、時間と思考と金を費やす一方では、天の恵みの教養はなおざりにされる原因となる。祈りとみ言葉の研究に捧げるようにと、救い主がわたしたちに忠告してこられた貴重な時間は、外見を飾る衣服の不必要な準備に費やされている。(ビュー・アヴ・ヘルド 1858年3月20日)

サタンが背後に立って、資金の支出において浪費へと導く流行を考案している。当世の流行をつくることにおいて、サタンには確固とした目的がある。彼は流行の求めに応ずるために時間や金がかかり、それらがより高く聖なる目的のためには用いられなくなることを知っている。貴重な時間は、絶えず変化し満足のない流行を追うために浪費される。一つのスタイルが紹介されるや否や、矢つぎばやに新しいスタイルが考案される。そして流行的な人が、流行的であり続けるためには、衣服を作り替えなければならないのである。このようにクリスチャンであると公言する人々も、二心のために時間を浪費し、世的なことにほとんど全精力を使い果たしている。……

服装の正しい好みは、軽蔑されたり非難されたりすべきではない。……安物の布を買って節約しようとしても、益はない。衣服は、浪費したり見せびらかしたりすることなく、質素できちんとしたものとしよう。

流行の奴隷のくびきからのがれた若い女性は、社会における飾りである。服装や立ち居ふるまいにおいて単純で気取らない人は、真の淑女とは道徳的価値によって特徴づけられるものであることを理解していることを示している。衣服における単純さは、何と美しく、注意をひきつけることであろう。その容姿の美しさは、野の花にたとえることができる。……

衣服における単純さを実行する人には、苦しんでいる人を訪問する時間があり、そして彼らと共に、また彼らのために祈る準備がよくできている。男女を問わずどのクリスチャンにも、自分の出費を管理し、ひきしめるという厳粛な義務がおわされている。それは、そうすることによって、彼らが困窮している人を助け、飢えている人に食物を与え、裸の人に着せることができるためである。(ビュー・アヴ・ヘルド 1858年3月20日)

9月24日

クリスチャン女性のしるし

「あなたがたは、髪を編み、金の飾りをつけ、服装をととのえるような外面の飾りではなく、かくれた内なる人、柔和でしとやかな霊という朽ちることのない飾りを、身につけるべきである。これこそ、神のみまえに、きわめて尊いものである。」(ペテロ第一 3:3, 4)

流行の愛好者もキリストに従っていると言うかもしれない。しかし、彼らの服装と会話は、何がその心を占め、何に愛情が注がれているかを示している。外觀は心の指標である。真の洗練さは、見せびらかすために体を飾ることで満足しない。慎み深く信心深い女性は、慎み深い服装をする。衣服の単純さは、いつも聡明な女性を最も引き立たせる。洗練された教養のある心は、単純で適切な衣装を選ぶことでわかる。聖化された心には、不必要な装飾を考える余地がない。(クリスチャン節制と聖書の衛生 93)

決して朽ちることのない飾りがある。それはこの生涯においてわたしたちのまわりにいる人々の幸福を増進させ、不死の将来においては、衰えることのない輝きで照らす。それは、柔和でへりくだった精神という飾りである。神は魂に最も高価な着物をまとうように命じておられる。(教会への証 4 巻 643)

柔和で静かな精神という内側の飾りには、値がつけられないほど価値がある。真のクリスチャンの生活において、外側の飾りはつねに内側の平和や聖潔と調和している。……自己否定と犠牲はクリスチャン生涯を特徴づける。改心した嗜好を示す証拠が、主の贖われた者たちのためにしかれた道に歩むすべての人の服装に見られる。

美を愛し、それを望むのは正しいことである。しかし神は、われわれが、まず最高の美、すなわち朽ちることのない美を、愛し求めるよう望んでおられる。どんな外面の飾りも、価値や美しさにおいて、「柔和で、しとやかな霊」、この世のすべての聖なる者たちが着る「純白で、汚れのない麻布の衣」と比べることのできるものは何もない(黙示録 19:14)。この衣装は彼らを、この世においては美しく、愛される者とし、きたるべき世では、彼らが神の宮殿に入るためのしるしとなる。神は約束しておられる、「彼らは白い衣を着て、わたしと共に歩み続けるであろう。彼らは、それにふさわしい者である」(黙示録 3:4)。(患難から栄光へ下巻 223)

キリストに似る美しさ

「心をこめた真実を示すようにと、……そうすれば、彼らは万事につけ、わたしたちの救主なる神の教を飾ることになろう。」(テトス 2:10)

キリストの御名を名乗る者はだれでも、秩序正しい生活と信心深い会話によって、また柔和でしとやかな霊という飾りをもって、わたしたちの救い主キリストの教を飾るべきである。……これを持つとき、あなたは神と人によりき香りを持つことになる。

軽率に語られた言葉は魂を傷つけ、苦しめる。そして、話し手の心が一番深い傷を負う。キリストの賜物である柔和でしとやかな霊という飾りは、誤ることのおできにならないお方によって、大いに価値あるものと、権威をもって宣言された。わたしたちは、各々自分で神にそれを求めて、その価値を見出すべきである。人がどのようにわたしたちを評価しようとも、この飾りを身につけているならば、キリストの弟子たるしるしを身につけているのである。わたしたちは至高者によって評価される。なぜならば、わたしたちが身につけている飾りには、イエスの御目に大いなる価値があるからである。この高価な宝石を求めなければならない。……

どの人にも、挑発されたり、怒りをかきたてられたりするようなことが起こるのであるが、もし完全に神のご支配の下になれば、あなたもこれらの事が起こったときに挑発されることであろう。しかし、キリストの柔和は、波だった精神を静め、舌を制し、全存在を神に服従させる。こうしてわたしたちは他人の非難にいかに耐えるかを学ぶのである。わたしたちは誤って判断されるだろうが、柔和でしとやかな霊という尊い飾りは、いかに耐え、いかに軽率で無思慮なことを言う人々に同情を持つかを教えるのである。不愉快な精神が示されたとき、確かに無防備な心には感情の悪が呼び起こされる。きよくない怒りは強められることなく、制御される必要がある。それは自然のままの人間の性質に火をつける口火である。争いの元となる言葉を避けなさい。悪を行うよりは、悪に耐えなさい。神はご自分に従うすべての者に、可能な限り、すべての人と平和に過ごすことを求めておられる。……

わたしたちは、キリストのようにならなければならない。わたしたちの生涯が、キリストが計画なさったとおりのもの、すなわち神とわたしたちの同胞への愛の香りに満ち、キリストご自身の神なる御霊に満ち、神への聖なる大志に満ち、キリストに似た美しさに富んだものとなるよう、奮闘しよう。(手紙 117、1899 年)

9月26日

献身した日

「さとき者の心は知識をたずね、愚かな者の口は愚かさを食物とする。」(箴言 15:14)

多くの人は神の言葉に基づく教訓を悟ろうと熱心に求めない。彼は聖書をわきにおいて、小説や新聞や雑誌のような、安っぽい読み物に心を没頭させてしまう。(原稿 146、1903 年)

有害な読み物は、サタンが人間の魂を滅ぼすために用いる手段の一つである。興奮させる読み物でいっぱいになった思ひは、かたい読み物に対する興味を失う。……わたしはこのような有害な習慣の邪悪な影響で悲しい結果を招いた多くの例を知っている。……人はこのような精神的食物に対する食欲にふければふけるほど、ますます欲しくなる。想像力は、酔っぱらいが酒やタバコを求めるように、たえず自分の慣れ親しんだ刺激を求めるようになる。彼らの精神的また道徳的力は弱まり、墮落する。彼らは聖書に対する興味や祈る心を失ってしまい、ちょうど酒飲みやタバコ常用者とまったく同じように、精神的にも、霊的にも損なわれてしまうのである。小説の読者は、精神的な酔っ払いである。そして他のどんな形態の不節制の犠牲者でもしなければならないように、彼らは完全な禁欲という誓いに署名する必要がある。(サイン・オブ・ザ・タイムズ 1887 年 5 月 19 日)

神はその民に、最高級の読み物を与えて下さった。神のみ言葉を家中のすべての部屋におくようにしなさい。命の糧である聖書を、いつも見えるところに置きなさい。……最上で高尚な書物をいつも家族の一人一人の目の前に置きなさい。(今日のわたしの生涯 89)

神のみ言葉を読むことは、物語のフィクションのように空想を魅惑したり、感情をかりたてたりはしない。そうではなく、これは心を和らげ、穏やかなものにし、愛情を高め、清めるのである。(日付不詳原稿 93)

青年が「主はわたしに、主の栄光を見る目、聞く耳を与えられました。わたしは愚かな、安っぽいものには耳をふさぎます。わたしは、真理に従うことによって魂を聖化させてきた人々のためにキリストが備えておられる家郷にわたしをふさわしい者とするみ言葉を読みます。わたしの声は神の栄光を宣べ伝えます。わたしの全存在のすべての力は神に捧げられます」と言えるのは特権である。(手紙 288、1908 年)

読むものに気をつけなさい

「これは、主が知恵を与え、知識と悟りとは、み口から出るからである。彼は正しい人のために、確かな知恵をたくわえ、誠実に歩む者の盾となって」(箴言 2:6, 7)

各時代にわたって、人間の好奇心は、知識の木を求めてきた。そして多くの場合、彼らは最も重要な木の実をもぎとっていると思うのであるが、探求過程におけるソロモンのように、真の聖潔の科学と比べるときにまったく虚しく無価値であることを発見するのである。(ユース・インストラクター 1898 年 10 月 27 日)

神に仕えたいと望む人々の書斎には、不信心者の筆による書物があるべきではない。それらを思いの糧とするよりは、あなたのストーブのたきつけとなるほうが良い。不信心な書物は多くの魂にとって滅びの原因となってきた。人はこのようなサタンの靈感の書物を研究してきたために、何が真理かということに関して混乱するようになったのである。サタンは不信心な書物を開く者のかたわらに立って、このような本を読みふける人の思いを教育する。そして、のぼせ上がりを打ち破ることがほとんど不可能になるほど、魂を魅惑するのである。どの信者も自分の山はしっかりとそびえて立ち、決して自分の信仰の立場から動かされることはないとうぬぼれてはならない。(ユース・インストラクター 1893 年 11 月 23 日)

わたしたちは不信仰に囲まれている。そうした大気そのものが充滿しているかのようなのである。そして、耐えざる努力によってのみ、わたしたちはその力に抵抗することができるのである。自分の魂の救いに価値をおく者は、らい病を避けるように不信心な書物を避けるべきである。

青年にわたしは言いたい、読む物に気をつけなさい。不適切な一連の読書によって思いが誤った経路に導かれている限りは、あなたは神の真理を絶えざる瞑想の課題とすることはできない。聖書の知識が他の何ものよりも重要になるべき時があるとするならば、その時とは今である。わたしは老いにも若きにも訴える。聖書をあなたの教科書としなさい。そこにあなたは品性の本当の標準を見出すであろう。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1887 年 5 月 19 日)

視力という大切なタラントを、あなたに益にならない……書物を読むためにささげてはならない。知、徳、体の力は、その血であなたを贖って下さった主、イエスに聖別されるべきである。(手紙 339、1905 年)

9月28日

もみがらか麦か

「わが子よ、わたしの言葉に心をとめ、わたしの語ることに耳を傾けよ。それを、あなたの目から離さず、あなたの心のうちに守れ。それは、これを得る者の命であり、またその全身を健やかにするからである。」(箴言 4:20 ~ 22)

光と真理はすべての人の手の届くところにある。……しかし、神の言葉を求めようと思いを定めないならば、サタンは彼らの心をもみがらでいっぱいにし、真理の貴重な種が成長する余地をなくしてしまう。……わたしたちは、魂を汚し、墮落させていながら、あまりにも偽装しているために、魅了するような誘惑に取り囲まれている。(ビュー・アンド・ヘラルド 1886 年 11 月 9 日)

わたしたちの都市の青年たちは、汚染され、けがされた犯罪の大気の中で呼吸している。……彼らは、当世の人気のある出版物に満ちている物語を読むことによって、犯罪の教育を受けている。正しいものを正しいがゆえに尊重しようとしないために、彼らが窃盗や人殺しや他のあらゆる犯罪の物語を読むとき、犯罪手口をもっと巧妙にしたり、発覚を逃れたりするために策略をねるようになる。こうして、これらの汚れた出版物は、青年たちの魂を失わせるような方法で、教育を完成するのである。(原稿 13、1895 年)

このようなくず同然の雑誌を家庭にもちこむのは大きな悪であるが、それにもかかわらず、多くの両親たちはこの危険に目覚めていない。彼らは自分の子供たちの思いにどんな食物が与えられているかを知らない。心に与えられる食物は、純粋で健全なものでなければならない。神はご自分の民に、まずい谷の流れから離れて、レバノンのきよい流れから飲むようにと招いておられる。受け入れる者にとっては永遠の命である神のみ言葉の研究は、思いに生氣を与え、強くする。しかし、あまりにもしばしばキリストの恵みは、思いに蓄積するのをゆるしてしまったゴミの山のため、道がふさがれて通れないのである。思いは祝福のみ言葉に飢え渴いていないのであるが、それは思想を純潔で聖なるものとするためには、食さなければならないものである。……

くず同様の読書にふけるよう誘惑される人にわたしは次のように言いたい、あなたの聖書を読みなさい。「みことばを調べなさい」とキリストは命じられた。「あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思って調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである」(ヨハネ五ノ三九)。神のみ言葉への服従が、わたしたちの唯一の安全である。(原稿 53、1911 年)

墮落した世で神とともに歩む

「エノクは神とともに歩み、神が彼を取られたので、いなくなった。」(創世記 5:24)

エノクの生活と品性は、死を見ないで天に移されたほど聖なるものであったが、これはもしエノクのように、キリストが来られるときに天に移されたいのであれば、みな持たなければならない生活と品性をあらわしている。彼の生涯は、もし神と緊密につながっているならば、すべての個々人が持つことのできるものである。エノクは神が世の住民をその腐敗のために洪水で滅ぼさねばならなかったほど墮落した世界の影響にさらされていたことを、わたしたちは覚えていなければならない。……

キリストが来られるとき、わたしたちのいやしい体は変えられ、このお方の栄光に満ちた体のようにされる。しかし墮落した品性がその時に聖なるものとされることはない。品性の改変は主の再臨前に行なわれねばならない。わたしたちの性質が純潔で聖なるものでなければならない。わたしたちはキリストの思いを持たねばならない。それはこのお方がわたしたちの魂にご自分のみすがたが反映しているのを喜んでご覧になるためである。……

ヨセフはエジプトで、すなわち罪と冒涇と邪惡な影響の中で、偶像礼拝者たちに囲まれていたときに、高潔さを失わなかった。彼が義の道からはずれるような誘惑を受けたとき、彼の答えは『どうしてわたしはこの大きな悪を行って、神に罪を犯すことができましょう』(創世記 39:9) であった。エノク、ヨセフ、ダニエルは、無限の力に依存していた。これは今日のクリスチャンが歩むべき唯一の安全の道である。……

これらの際立った人々の命は、キリストと共に神のうちに隠されていた。彼らは不信心のさなかでも神に忠実で、墮落のさなかでも純潔で、無神論や偶像礼拝と接触しなければならないときにも敬神的で熱心であった。信仰によって彼らは清く、聖なる品性の発達に好ましいこうした特質だけをわが身に集めた。わたしたちもこうすることができる。わたしたちの立場がなんであっても、環境がいかに不快でも魅力的であっても、信仰はそれらを乗り越えて、そして聖霊を見出すことができるのである。

エノク、ヨセフ、ダニエルが持っていた霊を、わたしたちも持つことができる。彼らと同じ力の源から引き出し、同じ自制の力を実感することができる。そして同じ恵みがわたしたちの生活のうちに輝き出ることができるのである。(ビュー・アンド・ヘルト 1885 年 9 月 1 日)

9月30日

キリストのために立ち上る青年

「わたしとわたしの言葉とを恥じる者に対しては、人の子もまた、自分の栄光と、父と聖なる御使との栄光のうちに現れて来るとき、その者を恥じるであろう。」（ルカ 9：26）

いつもキリストのために立ち上りなさい。言葉において、精神において、行動において主の証人でありなさい。主はあなたを愛しておられる。そして、あなたにご自分の豊かな恵みを与えたいと望んでおられる。それはそれを他の人々に与えることができるためである。……キリストはご自身の血であなたを贖われた。だからどこでも、いつでも、どんな環境でもキリストのために立ちなさい。こうしてあなたは自分の交わるすべての人にこのうえない最上の影響を及ぼすようになることを覚えていなさい。……

つねに恵みに成長し、知識と神の愛に進むことはあなたの特権であり、もしあなたがキリストと幸せな交わりを続けたいならば、それを楽しむのはあなたの特権である。謙遜な信仰の単純さをもって、主にあなたの理解力を開いてくださるよう求めなさい。あなたが神のみ言葉の尊い事柄を見極め、感謝することができるためである。そうすれば、あなたは恵みに成長し、単純なより頼む信仰のうちに成長することができる。そのときあなたは自分が交わるすべての人に光を輝かすようになる。あなたの思いを救い主にとめていなさい。……

あなたの霊的命が乏しく、病弱で、無能にならないように気をつけなさい。クリスチアンの言葉と模範を必要としている人々が多くいる。弱さと優柔不断は、敵の攻撃を誘発する。そして霊的成長において、真理や義の知識において大きくならない人はだれでも、しばしば敵に打ち負かされてしまう。（手紙 36、1901 年）

あなたの表情が主の喜びを反映するようにしなさい。主の慈愛を語り、主の力を述べなさい。そうすれば、あなたの光はますますはつきりと輝くようになる。あなたの試みや失望を越えて、清らかで健全な宗教生活の反映があらわされるようになるのである。（手紙 121、1904 年）

キリストとくびきを共にする人の影響力には限りがない。日々キリストの生涯を学び、彼の生活はその聖なる模範に形造られる。……わたしたちがキリストと共にいた者であり、神の子らであることを世が知るのには、わたしたちの言葉と行動でキリストの精神を表わすことによってである。わたしたちの宗教の真の性質は……わたしたちがあらわす優しい精神、親切、平和の中にあるのである。（手紙 34、1894 年）

あなたの魂を餓死させてはならない！

「世の心づかいと、富の惑わしと、その他いろいろな欲とがはいってきて、御言をふさぐので、実を結ばなくなる。」(マルコ 4:19)

わたしたちは人生において必要な心遣いだと思われるようなことでさえ、過度に心配しないように気をつけなければならない。その結果、わたしたちにとってもっとも必要な働きを行うことができなくなるからである。……手と心を没頭させる考えと忙しい活動の大部分は、利己的な、一身上の、世俗的な関心に与えられる。これらは永遠の事柄への配慮を妨げるほどに、夢中になることを許されている。魂は栄養の欠乏で飢え渴いたままにされている。思いと体は世的な事柄に打ち込む時間が長くなることによって疲れ切ってしまう。これは、ちょうどサタンのおもわく通りの状態である。思いの清新さや活力も、鋭敏な思考力もことごとくこの世のことに費やされ、神は、弱々しく散漫な考え、すなわち疲果て当惑した思いの実を受けることになる。永遠の平和にかかわる最も重要な事柄が、人生の世俗的な関心事の二の次にされるようになり、神からは、霊性を強め、思想を天に向かって引き上げ、また魂を神や聖天使たちとの交わりにいれる日々の奉仕が奪われるのである。(手紙 23a、1892 年)

わたしたちは、この世の事柄にあまりにも注意を引かれ、思いと身体が完全に夢中になるのを許してはならない。わたしたちの回りの人々は、このようにして、上なる天への道で自分たちを助けるはずの親切な言葉や行為を奪われている。光の通路は世的な事柄でふさがれている。キリストはご自分が分け与えようと切望しておられる恵みを与えることがおできにならない。多くの者は他の人々に分け与える力強さが段々減ってきているが、それはすべての力の源である方から力を受けていないからである。神は、思いを蝕み、宗教経験を損なう事柄から離れ去るようにと彼らに訴えておられる。(手紙 181、1904 年)

すべての者が緊急な心配、重荷、義務に圧迫されている。しかしあなたへの重圧が大きければ大きいほど、あなたが負わなければならない重荷が重ければ重いほど、あなたが神の助けを必要とする度合いも大きい。イエスはあなたの助け主であられる。あなたは人生の旅路を照らす命の光を絶えず必要としている。それからその神聖な光線は他の人々に反射する。(原稿 59、1897 年)

10月2日

良い方

「イエスは答えて言われた、『マルタよ、マルタよ、あなたは多くのことに心を配って思いわずらっている。しかし、無くてならぬものは多くはない。いや、一つだけである。マリヤはその良い方を選んだのだ。そしてそれは、彼女から取り去ってはならないものである。』」(ルカ 10:41, 42)

キリストのこの譴責は、現代の多くのマルタに与えられている。彼らはこの世の事柄を非常にたくさん行い、また自分が愛する人々に好意を降り注ぐと、くりかえし忙しく活動することによって、自分を救いにいたらせる霊的なまた神聖な知識をたくさん失っている。もしも彼らがあらゆる自分の準備に単純さを守り、神のみ旨をもっと良く知り、神のみ言葉を行う者となる尊い機会を活用したいと思うなら、彼らは短気になることをもっと抑え、絶えることのない命の泉を飲みたくなるであろうに。……

マルタ……は食事の用意を積極的に行うほど、キリストに当然与えられる敬意すべてを非常に気にかけていたが、キリストの神聖な唇から出る教えに耳を傾ける、もっとも尊い、黄金の一瞬、一瞬を失った。マリヤはあらゆるみ言葉を捉えようとキリストの足元に坐った。彼女はこれが最も大切なことであると思っていた。このことがマルタの感情を害し、マリヤがこれらの責任を避けている一方で、マルタ一人が奉仕していることを、主イエスが気につけないのかと、彼女はこのお方に聞いた。イエスは、マルタよ、マリヤは良い方を選んだ。そして、それは彼女から決して取り去ってはならないものであると言われた。良い方とは何であったのか。それはイエスから学ぶことであり、このお方のみ言葉を正しく理解することである。マリヤはこのお方の唇から出るみ言葉に注意を傾けることにより、救い主に対する彼女の愛を示していた。……

イエスの唇から出る一つ一つの言葉は尊かった。マリヤがご自分の教えを正しく理解しているのを見ることは、このお方にとって喜びであった。キリストのみ言葉は頻繁に聞けば聞くほど、思いはもっと印象が深まり、もっと良く理解し、もっとたやすくもっと完全に服従するようになる。

わたしたちの友人に対して、いつも外見を偉く見せようとするこの精神は、敵の策略である。……

キリストはご自分に従う者—ご自分の血で買い取られた人々—に、この世のすべての愚かさ、虚栄、汚れた墮落を自分たちの生活から取り除くようにと要求しておられる。……「見よ、神はここにいます」という感動が、すべての思いを厳粛にし、すべての魂を喜ばせるようにしよう。(原稿 42、1890 年)

若々しい熱心さと勇気が必要

「若者たちよ。あなたがたに書きおくたのは、あなたがたが強い者であり、神の言があなたがたに宿り、そして、あなたがたが悪しき者にうち勝ったからである。」
(ヨハネ第一 2：14 下句)

神の働きには若々しい情熱、熱心さそして勇気が必要である。精神力と体力が神の働きを進展させるために必要不可欠である。明晰な頭脳で計画し、勇気のある手で実行するには、生き生きとした、能力のあるエネルギーを必要とする。神は、その働きがすべての分野で前進することができるために若々しい情熱を、声を大にして求めておられる。青年男女が、彼らの若々しい力強さを神に捧げるようにと招かれているが、それは神が彼らに与えてくださった力を働かせ、健全な思想と活動的な力を通して、神に栄光を帰し、人々に救いをもたらすことができるためである。青年たちよ、神はあなたにおゆだねになった力を最大限にいかすよう求めておられる。あなたが着手するあらゆることに最善を尽くす習慣を培いなさい。神はあなたの主人であり、あなたはこのお方に雇われた僕である。
.....

あなたはキリストの学校で絶えず学び続けなければならない。あなたは自分に委ねられた体と精神の活力という資本をあなたの働きに持ち込まなければならない。……あなたが神の深い事柄を理解する働きに打ち込むとき、精神的な努力はもつとたやすく、もつと申し分のないものとなる。……

あなたは思いの最高の力を寄せ集めることができ、神に対するあなたの責任という自覚で、自分の最善をなすことができ、向上し続け、困難を克服し続ける。あなたの働きを成し遂げるための特別な努力をしないで、怠惰な安易さでとどまってはならない。主なるお方の広大なぶどう園で何かの役割を選択し、機転とタラントを働かせる必要のある働きをしなさい。(レビュー・アンド・ヘルト 1890 年 5 月 20 日)

わたしはキリストの若い弟子に、目を覚まし、これ以上快楽を求め、自己愛と安逸にふけらないようにと、またこれ以上生来の傾向や、肉の心の強い欲望に支配されないようにと嘆願する。……

神の聖霊の改心させる力がわたしたちの青年に降り注ぎ、彼らが多くの若者をキリストに勝ち取るための働く代理人となることができ、賢い者と見なされる者の中に居ることができ、「大空の輝きのように輝き」「星のようになって永遠にいたる」者のなかにいることができるようにというのが、わたしの神への祈りである(ダニエル 12：3)。(ユース・インストラクター 1893 年 6 月 29 日)

10月4日

わたしたちに罪はないか

「世と世にあるものとを、愛してはいけない。もし、世を愛する者があれば、父の愛は彼の内にない。」(ヨハネ第一 2:15)

世への愛が若者の思いの中で優位を占めているということは、ゆゆしき事実である。彼らは疑いようもなく世と世にあるものを愛しており、この理由そのものために神への愛は彼らの心の中に場所がない。彼らの楽しみは世と世にあるものに基づいているので、彼らは御父とこのお方の御霊を知らない者となっている。軽薄、流行そして口先だけのむなしいおしゃべりや笑いが、一般に青年の生活を特徴づけているので、神の名誉は汚されている。……

サタンは、青年の思いを神から引き離すために、手段を問わず彼らの注意を引きつけようとしている。……天の芸術家である方はあらゆる行動、あらゆる言葉に気づいておられ、……心の中の考えや意図ですら忠実に言葉で描写されていることに、彼らは気づいていない。……それらのむなしい、軽薄な言葉はすべて天の書に書かれている。それらの偽りの言葉は書かれている。動機が人間の目からは隠されていても、すべてを見通すエホバの目には、はっきりと見分けられている、だますつもり的那些らの行為はすべてそのとおりに書かれる。あらゆる利己的な行為は暴露される。一般的に若者は、あたかも尊い恩恵期間に、憐れみがとどまっているとき、それがあ大きな休暇であって、自分たちはただ単に自分を楽ませるためにこの世に置かれているかのように振舞っている。(ビュー・アード・ハルド 1886年3月30日)

言葉と行為は、その心に何があるかをはっきりと示す。もしも虚栄心や自尊心、自分を愛し、衣服を愛する気持ちが心を満たしているなら、会話は流行、衣服、外見上のことになり、キリストあるいは天の王国のことではなくなる。もしもうらやむ気持ちが心に宿るなら、同じものが言葉や行為にあらわれる。……

ある人々は、自分が何を食べ、何を飲むかにこだわり、また自分が着るのに必要な財源のことが心からはなれない。彼らの心はこれらの考えでいっぱいなので、あたかもこれらの事柄が人生における彼らの壮大な目的であり、達成すべき最高のことであるかのように、心にあふれるものが流れ出す。彼らは「まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう」というキリストのみ言葉を忘れ(マタイ 6:33)る。(ビュー・アード・ハルド 1886年3月30日)

ただ一つの安全な楽しみ

「あなたの家の豊かなのによって飽き足りる。あなたはその楽しみの川の水を彼らに飲ませられる。」(詩篇 36 : 8)

敵は、わたしたちの思いを御言の研究から引き離そうと、多くの方法で努力している。彼は、肉の心に望ましいと思える娯楽や快楽に満足を求めるようにと、多くの者を導く。しかし、神の真の子らは、この世における自分の幸福を探し求めてはいない。彼らは、永遠の都、そこにキリストが住んでおられ、贖われた者が神のご要求に服従することへの報いを受ける、その永遠の都における家庭での永遠に続く喜びを、探し求める。この人々はこの世の一時的な、安っぽい娯楽ではなく、天の永遠に続くこの上ない喜びを強く望む。

神は偉大な力を、男女にゆだねておられる。この力は神がご自分の奉仕にささげられるようにと思っておられるものである。そして、神の栄光のために、自分のタラントを忠実に用いる一人一人に届く光は尊い。わたしたちは、自分の思いを聖霊の感動を受けることができる状態にしておくよう、努めなければならない。しかしたえず、つまらないことに自分の考えが走るのを許す人々は、増し加わる光を受けることができない。思いは、天の宝、すなわち、わたしたちを霊的に成長させることのできる食物を蓄えていなければならない。このようにして、わたしたちは聖なる天への備えをする。……

もしも、わたしたちが同僚を助けることに自分の思いを向けるなら、できる方法は多くある。しかし娯楽や自分を満足させることのために準備されている計画をみると、わたしは悲しみで満たされる。これらのことが思いを占めるので、神の尊い真理が魂を占有する機会がない。この世の楽しみに関心を向ける人々を見ると、彼らが改心することができるようにと、わたしはどれほど願うことか。そうなるなら、自分の時間とエネルギーを自己の満足のために捧げる代わりに、彼らは他の人々を何処で助けることができるかを知るであろうに。彼らは、そのような助けを必要としている魂に、勇気を与える言葉を語り、光と喜びをもたらす機会を見つけるであろうに。(原稿 51、1912 年)

ただ一つの安全な楽しみとは、厳粛な宗教の思想を追い払うようなものではない。人のよく行くところで唯一安全な場所は、わたしたちが、イエスをわたしたちと共に連れ歩くことのできる場所である。(ビュー・アソッド・ヘラルド 1883 年 11 月 6 日)

10月6日

世の惑わしを打ち破る

「世と世の欲とは過ぎ去る。しかし、神の御旨を行う者は、永遠にながらえる。」
(ヨハネ第一 2 : 17)

キリストの教訓は、天と地との関係の重要性を示す性質のものである。キリストは思いの目の前に、天の要求が第一に重要であることをお示しになる。神のご要求は最高のものである。神は心と思い、力と力強さ全体を要求なさる。神は地上の事柄について、永遠の利益に従属したものとするよう、その場所を指定しておられる。

サタンの誘惑は地上の事柄を示し、それらがすべての者を夢中にさせ、引きつけるが、それは天の現実が覆い隠されて、世に対する愛着が第一となるためである。そしてこれは非常に大きな力となっているので、全能のお方だけがこれを取りのぞくことがおできになる。サタンの働きは、五感をこの世に鎖でつなぐことである。キリストは、悪魔の魔力を打ち破り、サタンの働きに反対し、思いを地上のことから引き離し、天のことに引きつけるために来られた。このお方だけがこの魔力を打ち破ることがおできになる。……大欺瞞者の魅惑的な力を通して、礼拝の対象となっていた世と世の栄光はみな、数年で人間の芸術の装飾品と共に燃やされることになる。そのとき人の魂の損失を補うために何が見つかるというのだろうか。

命の君は永遠の世界に注目するよう呼びかけておられる。……このお方は将来の無限の重々しさが人の思いを引きつけたままにいることによって、現世が彼らの愛情において下位になることを望んでおられる。このお方はサタンが置きかえたものを順序正しく元通りになさる。支配権をもち、神として礼拝を受けていた世を、御座から取り除き、それを本来の場所に置かれる。……

永遠の現実を視野に入れて、わたしたちは神の御臨在という思想を習慣として培おう。こうすると敵の侵入への盾となる。神の御臨在という思想は力と保証を与え、魂を恐れの上に引き上げる。天の大気を呼吸することによって、わたしたちは世のマラリヤに汚染された空気を呼吸しない。わたしたちは暗い地下室にとどまらず、天を見上げるすべての窓が開いており、義の太陽の輝く光線を捉えることのできる階上の部屋へと上がって行く。(原稿 42、1890 年)

最も大切なこと

「だから、何を食べようか、何を飲もうか、あるいは何を着ようかと言って思い
わずらうな。」(マタイ 6:31)

主は、わたしたちのうちだれ一人として僭越にも、健康に心を配らず、何ひとつ生計手段のために備えをしないというようなことは望んでおられない。しかし、世が考えのすべてを占め、愛情のすべてを自分のものにするのを、このお方がご覧になるとき、このお方は永遠の現実が見失われることを分かっておられ、サタンの働きであるこの悪を正そうとなさる。永遠の現実についての高尚で気高い熟考のために訓練されなければならない思いが、地上の偶像をになったありふれたものとなっている。イエスは天国の利点と美しい描写を提示なさるが、それは天の魅力が思想に親しみ深いものとなり、記憶の部屋に、天上の永遠につづくうるわしさを描いた絵が掛けられるためである。

イエスは、わたしたちの思いの部屋が汚れたもので満たされているのをご覧になって、神をそれらの前に、中心として置かれる。……このお方は市場の中を通り抜けられるが、そこはあらゆるものが活動と喧騒に満ちており、商人たちの声が聞かれるところである。ご自分のみ言葉を聞くために集まってきた大変な人ごみの中で、このお方がお与えになる教訓は、夢中にさせる魔力を破る、神のトランペットのような、天からの警告である。「人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、なんの得になろうか。また、人はどんな代価を払って、その命を買い戻すことができるか」(マルコ 8:36, 37)。

偉大な教師は、未来の世界の光景を人にお示しになる。このお方は、その光景を魅力的に、人の視覚の範囲内に持ってこられる。……このお方は神と天の実際の要求を提示なさる。もしもこのお方が、人の思いにこの世の一時的な関心事と対比した、未来の生活とその祝福を注ぐことができるなら、その著しい対比は、心と魂とその人全体を夢中にしつつ、その人の思いに深く印象づけられる。偉大な教師は、このようにして時間や五感といった事柄を、それまで最高の愛情を注いでいたところから取り去って、より高い永遠の現実の下位に置かれる。このお方は命に最高の責任を授けられる。このお方は、人があらゆる人生の虚栄心から離れて、目的を持って生きなければならないことを人にお示しになる。(原稿 42、1890 年)

10月8日

神の召しに従う

「それから、みんなの者に言われた、『だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。』」(ルカ 9:23)

キリストに従うすべての者はほんものの自己否定を実践する。ユダは、キリストに従い始めたが、同時に自分の利己的な貪欲の計画を実行し始めた。彼には、他の弟子たちが持っていたのと同じ特権があった。彼はキリストの教訓を聞くと同じ特権を持っており、その教訓は实际的な信心、神のようであることがどのようなことであるかを、はっきりと示していた。しかし彼はその率直な真理をいつも喜んでいただけではなかった。その教訓は彼の心を傷つけた。そして彼はイスカリオテのユダのための個人的な努力に着手する代わりに、キリストの御言葉や、働きの中に欠点を見つけ、このお方の率直な教えを批判した。品性が変えられる代わりに、彼は自己愛、うぬぼれ、そして金銭欲を培った。(レビュー・アソド・ハラルド 1894年8月21日)

自分のために生きるということは滅びることである。貪欲とは、自分のために利益を求めることであつて、それは魂を命から切り離す。自分のために手に入れ、自分に引き寄せるのはサタンの働きであり、他の人々の善のために与え、自分を犠牲にするのはキリストの精神である。(原稿 107、1908年)

救い主に従う者の生涯には、利己主義が存在することはありえない。真のクリスチャンは、自分の心から、すべての利己心を追放する。十字架にかかり、世の命のためにご自分の命を与えておられるキリストのことを考えるとき、どうして彼は自分のために生きることができるだろうか。イエスは、あなたのために、恥辱の死をお受けになった。あなたは、このお方の奉仕に自分を快く捧げているだろうか。この方が命じておられる者になり、命じておられることを何でも行う準備を快くしているだろうか。あなたは自己を脇へ置き、サタンの誘惑に屈していると思える同胞に、警告の言葉を語る気持ちがあるだろうか。あなたは同胞を安全な道に導こうとするがゆえに、あなたの計画のいくつかを犠牲にする気持ちがあるだろうか。もしもクリスチャンが愛情に満ちた、無私の関心を青年に示していたなら、救われていたはずの多くの青年が危険にさらされている。……

真のクリスチャンは、主なるお方のために無私の気持ちで疲れを知らずに働く。彼は安逸や自分を満足させることを求めず、すべてを、命ですら制し、神の召しに従う。だから彼には、「わたしのために自分の命を失っている者は、それを得るであろう」という言葉が語られる(マタイ 10:39)。(ユース・インストラクター 1902年6月12日)

天国は、いかなる価でも安価

「自分の十字架を負うてわたしについて来るものでなければ、わたしの弟子となることはできない。」(ルカ 14:27)

能力とタラントを持っている非常に多くの人が、クリスチャンの道を進むことを選ばないというのは偽りのないところである。彼らのタラントと能力は、与え主、天と地の主に捧げるにはあまりにも尊いのだろうか。……

もしもキリストが、その十字架から降りて来られて、彼らの望むような方法で、彼らに姿を現されたなら、多くの者がこのお方に従う者となったであろう。もしもこのお方が富と快樂を持ってこられたなら、多くの者がこのお方を喜んで受け入れ、大急ぎでこの方をすべての者の王として、このお方に王冠をのせようとしたであろう。もしもこのお方がご自分のへりくだりと苦しみを脇へ置き、「もし、だれでも、わたしの後に従って来るなら、わたしはその人に自分を喜ばせ、世を楽しませ、そしてわたしの弟子としよう」と叫ばれたなら、多くの者がこのお方を信じたことであろう。

しかし、ほむべきイエスは、柔和で、謙遜な、十字架に掛かられたお方としての品性以外でわたしたちのところに来られることはない。もしも、わたしたちが天国において冠を得たいのであれば、この地上でわたしたちはこのお方の克己と苦難にあずかる者とならなければならない。……

神のみ言葉は、狭い道を広くしてはいない。だからもしも多くの人々が信心の外観をまとうことができる道を見つけても、十字架を負い、苦難を経験しないなら、わたしたちの救い主が歩まれた道ではないことが分かり、キリストがわたしたちの前に示された模範ではなく、ほかの模範に従っていることが分かる。天の神聖さと天国の喜びをわたしたちに与えるために、イエスが天の至福と栄光を後にして、貧困と深い苦悩の生涯を耐え、残酷で不名誉な死を遂げられたことで十分ではなかろうか。そしてそれほど大きな謙遜と愛の対象としての価値がないわたしたちが、この世においてわたしたちの贖い主に与えられたよりも良い立場を求めることができるだろうか。(手紙 2、1861 年)

もしも克己や十字架がなければ、天国への道はなんと容易であろう。名利を追う人々がどれほどその道になだれこみ、数知れない偽善者がその道を旅することであろうか。十字架、すなわち自己否定のゆえに神に感謝する。救い主がわたしたちのために耐えてくださった屈辱と恥は、このお方の血に買い取られることによって救われた人々にとってまったくいいことではない。天国はまことに安価なものである。(手紙 9、1873 年)

10月10日

すべての人に与えられているタラント

「また天国は、ある人が旅に出るとき、その僕どもを呼んで、自分の財産を預けるようなものである。すなわち、それぞれの能力に応じて、ある者には五タラント、ある者には二タラント、ある者には一タラントを与えて、旅に出た。」(マタイ 25: 14, 15)

神はただ選ばれた少数の人々にだけタラントをお与えになっているのではなく、どの人にも神の奉仕に用いるようにと、なにか特別の賜物をおゆだねになっている。主から尊いタラントを与えられた多くの人々が、それを神の王国を進展させるために用いることを拒んでしまったが、それにもかかわらず、彼らが神の賜物を使用するにあたっては神への責任の下にある。人はすべて、神に仕えていても、自分を喜ばせていても、何らかの委託物を所有しており、それを適切に用いると神に栄光を帰し、誤用すると与え主から盗むことになる。……

人類家族は道徳的に責任のある者たちで成っており、最も身分が高く才能のある者から、最も身分が低く世に知られていない者まで、すべての人に天の財産が与えられている。時間は神からゆだねられた賜物であって、キリストの奉仕の中で勤勉に用いるべきものである。感化力も神の賜物であって、最も気高く尊い目的を推し進めるために及ぼさなければならない。……知性も委ねられたタラントである。同情と愛情は厳粛に守り育てるべきタラントであるが、それはわたしたちを買い取って下さったお方に、わたしたちが奉仕をお返しすることができるためである。

わたしたちは今ある自分も、これからなり得る自分も一切が神に属している。あらゆる方面の教育、訓練、技術は神のために用いなければならない。資本は神のものであり、これを用いて得る利息は正当にこのお方に属する。ゆだねられた額の多少にかかわらず、主はご自分の家令たちが最善を尽くすことを要求なさる。人が天から認められるのは、ゆだねられた額でも、そこから得た利益でもない。「良い忠実な僕よ、よくやった。あなたはわずかなものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ」(マタイ 25: 23) という神の祝福をもたらすのは、忠実、神への忠誠、ささげられた愛の奉仕である。この喜びの報酬はわたしたちが神の都に入るまで待つのではなく、忠実な僕はこの世においてすら、それを前もって味わう。(サイン・オブ・ザ・タイムズ 1893年1月23日)

あなたのタラントをどう用いているか

「五タラントを渡された者は、すぐに行って、それで商売をして、ほかに五タラントをもうけた。二タラントの者も同様にして、ほかに二タラントをもうけた。しかし、一タラントを渡された者は、行って地を掘り、主人の金を隠しておいた。」(マタイ 25:16～18)

真理の知識は、密かに貯えて、束ね、土の中に隠しておくにはあまりにも尊い。主なるお方に託された一タラントですら、これを忠実に使用しなければならない。
.....

神は無我の、たゆまない勤勉さにご自分の祝福を宣言なさり、たとえわたしたちが一タラントしか持つことができず、わずかな投資しかできなくても、神はその努力を結果として実り多いものにして下さる。信仰を持って働く者は、自分の知性、愛情、自分の力全部が神に属していることを悟り、自分の力を勤勉に用いようと努め、じぶんの能力とタラントを活用しようと努める。しかし、どれほど多くの人々が、自分の能力がすべて神に属していることを悟る代わりに、自分の感化力、自分の安っぽい、軽々しい言葉が自分と交わる人々の品性を形成し、同時に自分の思いを低い水準に引き下げていることを気につかず、ほとんど考えていないことか。.....

魂を取り囲む雰囲気は、善悪いずれかへの感化力をはらんでいる。.....そこには毒やマラリヤが充満することもでき、良い香りと純潔で健康を与える雰囲気が満ちることもできる。この道徳的な感化力は、わたしたちが光と命であられるキリストとつながっているか、それとも離れているかによる。キリストと結合している人々は、それぞれの能力に従って、このお方が自分に委託しておられることを悟り、自分の環境がどんなものであっても、その環境が自分の道徳上の品性を発達させるのに好ましいと考える。わたしたちはあらゆる便宜や機会を最大限に活用しなければならない。.....わたしたちは自分の能力を訓練し向上させなければならないが、それは主なるお方を失望させることなく、できる限り高い標準に到達して、人々がわたしたちの模範であられるお方のみ足の跡に従うようにと、感化を与えるためである。わたしたちは、「世の中の人々にも親しい友人たちにも、クリスチャンの品性について、わたしの行動によって安価な観念を持たせてはならない」と言うことができる。.....

あなたは自分のタラントをどのように用いているだろうか。両替商人に差し出しているのだろうか。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1893年1月23日)

10月12日

言葉、尊いタラント

「あなたは、自分の言葉によって正しいとされ、また自分の言葉によって罪ありとされる。」(マタイ 12:37)

神は青年一人一人に、ご自分のために活用するようにと、言葉を話すタラントを与えておられる。これはもっとも大切な委託物である。……あなたの言葉が命を与えるものとなり、周囲の人々に救い主を指し示すものとなるようにしよう。あなたの言葉が憂鬱ではなく日光をもたらし、敵意ではなく一致をもたらすようにしよう。イエスと御使いたちの前で語りたくないことは、何も言うてはならない。他の人の心に争いをかきたてる言葉を言うてはならない。どんなに腹が立っても、性急な言葉を抑えなさい。もしもあなたの言葉と行いがキリストのようであるなら、あなたと交わる人々はその交わりによって祝福される。正しい言葉と行いは、説き勧めることのできる説教すべてよりも、もっと力強い善への感化力を持っている。(ユース・インストラクター 1903 年 1 月 1 日)

失望させる言葉は口にしないように用心しよう。悪口陰口にはいっさいかわらないように決心しよう。疑いの種をまいてサタンに仕えることは拒もう。不信を心に抱くこと、あるいはそれを人に述べることをないように注意しよう。わたしは、神に喜ばれる言葉だけを語るという厳粛な約束を含む誓いが行き渡ったらどんなに良いかと、何度思ったか知れない。この誓いの必要なことは、禁酒の誓いと同じくらい、大いに必要である。思いを訓練することによってのみこれが可能であることをいつも覚えながら、舌を訓練し始めよう。「おおよそ、心からあふれることを、口が語るもの」だからである(マタイ 12:34)。

わたしたちは、キリストが与えることのおできになる助けによって、舌を制御することを学ぶことができる。このお方は、まさに性急な怒りの言葉で激しく試みられたが、一度もその唇で罪を犯されたことはなかった。このお方は、仕事場での大工仲間間の冷笑や皮肉やあざけりに、忍耐強く静かに応じられた。怒って言い返す代わりに、このお方はダビデの美しい詩篇の一つを歌い始めるのであった。仲間たちは、自分達のしていることに気づく前に、その讚美に和するのであった。もしも今日の男女が言葉の使い方キリストの模範に習うなら、世の中はどれほど変わることであろうか。(ビュー・アンド・ヘラルド 1904 年 5 月 26 日)

品性の指標

「また、卑しい言葉と愚かな話やみだらな冗談を避けなさい。これらは、よろしくない事である。それよりは、むしろ感謝をささげなさい。」(エペソ 5:4)

人の品性は、その人の会話の性質によって、かなり正確に判断できる。……しゃれや冗談、安っぽい会話にふける人々は、サタンが近づいて来ることのできる水準に自分自身を置いている。……もしもあなた方が自分自身を神聖な感化力で包むなら、共に交わる時に、あなた方はお互いに助けとなり祝福となることができる。しかし重大な欠点を持つ人々がおり、その欠点は彼らにますます深い支配力を得ていくので、もし征服しなければ心の中から神の御霊を追い出してしまうことになる。……しゃれや冗談は、安っぽい思いを持った階層の人々を喜ばすかもしれないが、この種の行為の感化力は靈性を破壊する。わたしは一つの階層としてのあなたがたに、また、個人としてのあなたに言う、あなたの言葉に用心しなさい。まじめで、健全な常識があなたの会話の特徴づけるようにしなさい。言い古された冗談や、軽薄な会話の習慣を養うことにふけて、相手を見下すことにより、あなたがたの魂の純潔と高潔をいい加減に扱ってはならない。

この点における神のご要求は明白であって、神の子としてのあなたがたの上に置いておられる義務を、あなた方の前に明示しておられる。神の御言は、「あなたのすることはすべて、ことばによるとわざによるとを問わず、いっさい主イエスの名によってなし、彼によって父なる神に感謝しなさい」と告げる(コロサイ 3:17)。(手紙 2、1895 年)

ああ、わたしたちの青年一人一人が愚かな会話の害悪を悟って、つまらない言葉を語る習慣を正すと良いのだが。この罪にふけていた人は皆、それを悔い、神の御前に告白して、それを自分から遠ざけなさい。愚かな言葉を語ることによって、あなたはキリストの御名を辱めていたのである。なぜならあなたはこのお方のご品性を誤って伝えていたからである。狡猾な言葉がこのお方の唇にのぼることはなく、言い逃れや偽りの言葉ものぼったことがなかった。十四万四千人を構成するものとして描かれている民は、彼らの額に御父の名が記されており、彼らについては彼らの「口には偽りがなく、彼らは傷のない者であった」と記されている(黙示録 14:5)。(ユース・インストラクター 1895 年 6 月 27 日)

沈黙が雄弁となる時

「愛を追い求める人は人のあやまちをゆるす、人のことを言いふらす者は友を離れさせる。」(箴言 17:9)

詩篇記者は尋ねる。「主よ、あなたの幕屋にやどるべき者はだれですか、あなたの聖なる山に住むべき者はだれですか。直く歩み、義を行い、心から真実を語る者、その舌をもってそしらず、その友に悪をなさず、隣人に対するそしりを取り上げない人である」。だれかがあなたのところに隣人に不利な話をしに来るなら、あなたはそれを聞くことを拒否すべきである。あなたは彼に「それをご本人に話しましたか」と言うべきである。……その人に、聖書の原則に従ってまずその兄弟のところへ行き、その人の過ちを個人的に、しかも愛を持って語るようにと告げなさい。神の指示通りに行われるなら、ゴシップの水門は閉ざされるはずである。

兄弟や隣人があなたに会いに来るときは、イエスの素晴らしい愛について語りなさい。失われた人のためのこのお方のとりなしを喜びなさい。あなたの友人たちに、あなたが彼らの魂に対して持っている愛を告げなさい。なぜなら彼らはキリストの血で買い取られた者なのだから。わたしたちが疲れた旅人の誤りを拡大し、彼らの行為を裁く座にすわって、その人の道をもっと苦しくすることを、神は禁じておられる。わたしたちが、孤独で、失望し、過ちを犯している人の生活に慰めと希望と勇気を与える言葉を語ることができるように、神はわたしたちを助けて下さる。(ビュー・アノド・ハルド 1888 年 8 月 28 日)

あなたが不用意に話したい気持ちにかられたときには、十分に用心しなさい。もしも他のだれかが神の子らの一人についての批判の言葉を携えて、あなたに近づいて来るなら、そうした言葉には一切耳を貸してはならない。もしもあなたが厳しく言われても、決して応酬してはならない。一言も口にしてはならない。挑発される時には、「沈黙は雄弁である」ことを思い出しなさい。沈黙は、あら捜しをする人、あるいは気分がいらいらしている人に、あなたが与えることのできる最大の譴責である。(原稿 95、1906 年)

わたしたちの生活に、できる限り全ての喜びを取り入れ、周囲の人々にできる限りすべての親切をすることが、わたしたちの目標でなければならない。親切な言葉は決して失われることはない。イエスはそれらを、あたかもご自分に語られたかのように、記録しておられる。親切と愛とやさしさの種をまきなさい。そうすればその種は花を咲かせ、実を結ぶ。(SDA パイブル・コメンタリ [E・G・ウット・コメント] 6 巻 1118)

日光と喜びをもたらす言葉

「いつも、塩で味つけられた、やさしい言葉を使いなさい。そうすれば、ひとりひとりに対してどう答えるべきか、わかるであろう。」(コロサイ4:6)

言葉を語るタラントは、すべての人の益になるように用いるために与えられている。感じよく、元気づける言葉は、不快で、ふさぎこんだ言葉より、犠牲を払うものではない。鋭い言葉は魂を傷つけ、いためる。この世の生活ではだれにも取り組まなければならない困難がある。だれもが不満の原因、また失望を経験する。わたしたちは、自分が接触する人々の生活に憂うつではなく日光をもたらそうではないか。助けとなり祝福となる言葉を語ろうではないか。そのような言葉は、語られる相手と同様、わたしたちにも祝福となる。

両親がた、あなたがたの家庭の中で、あら捜しを許してはならない。子供たちに感じのよい言葉、日光と喜びをもたらす言葉を語ることを教えなさい。天使たちは不和の絶えない家庭には引きつけられない。家庭に实际的な信心、神のようであることを持ち込みなさい。敬虔さを家庭で実行しなさい。あなた自身とあなたの子供たちを、神の都に入るために備えなさい。天使があなたがたの助け手となってくれる。サタンはあなたを誘惑するが、屈してはならない。敵が利用できるような言葉は一言も語ってはならない。(レビュー・アソッド・ハルム 1904年1月28日)

わたしたちは日々、将来の収穫のために種をまいている。わたしたちの言葉によってまく種についていくら注意してもすぎることはない。言葉は往々にして不注意に語られては忘れられてしまうが、これらの言葉は、善であれ悪であれ、収穫をもたらす。不親切で荒々しい言葉を一言まくなら、その種は聞く人の思いを土壌として、芽を出し、その類に従った実を結ぶ。愛情に満ちた、優しい、キリストのような言葉のうちに一粒の種をまくなら、それはあなたに豊かな報いをもたらす。わたしたちは、祝福ではなくのろいの言葉を語らないように、自分自身を守ろう。もしもわたしたちが麦をまくなら麦を刈り取り、毒麦をまくなら毒麦を刈り取る。そして麦であれ毒麦であれ、収穫は確実であり、しかも豊富なのである。

「まちがってはいけない。神は侮られるような方ではない。人は自分のまいたものを刈り取ることになる」(ガラテヤ6:7)。収穫は確実である。霜がそれを枯らすことはなく、毛虫が台無しにすることもない。

神はご自分の子らに自分の言葉に用心するようにと訴えておられる。(原稿99, 1902年)

10月16日

金のりんごのような言葉

「おりにかなって語る言葉は、銀の彫り物に金のりんごをはめたようだ。」(箴言 25:11)

ある人々は神と日々交わって、キリストの柔和を身につけているのがわかる。彼らの言葉は……そのくちびるからかぐわしく流れ出る。彼らは……キリストが心の中に住んでおられるので、彼らは自分の歩む道にずっと愛と親切の種をまき散らす。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホバ・コメント] 3 巻 1159)

舌は、天の栄光を語り、イエスの愛を話すように、教育し、鍛錬し、訓練する必要がある。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホバ・コメント] 3 巻 1146)

過ちを犯し、自分の恥と愚かさを痛感している魂がおり、彼らは励ましの言葉に飢えている。彼らは、ほとんど絶望に追いやられてしまうまで自分の過ちと間違いを見つめる。非難し譴責して、義の太陽が彼らの心に注いでおられる希望の最後の光を取り去ってしまう……のではなく、傷ついた魂に、あなたの言葉をいやしの香油のように注ぎなさい。心に芽生えてきているか弱い希望を打ち倒し、台無しにする、ひどい雹のようであってはならない。あなたが優しい、励ましの言葉を語らないがために、飢えて、飢え死にしそうな魂を自分ではどうすることもできない状態で、滅びるままにしてはならない。(ビュー・アンド・ハルト 1895 年 8 月 20 日)

最も説得力のある力強い言葉は、愛と同情をもって語られる言葉である。そのような言葉は混乱した思いに光をもたらし、失望している人の前途を明るく照らしつつ、彼らに希望をもたらす。わたしたちが生きているこの時代は、生き生きとした聖化されたエネルギーを求めている。熱心、熱意、そしてもっとも優しい同情と愛を求め、みじめさを増すのではなく、信仰と希望を抱かせる言葉を求めている。わたしたちはよりよい国、すなわち天国を求めつつ、家路についている。聞く者の胸を苦しめる言葉を語る代わりに、神がわたしたちを愛してくださっているその愛を語ろうではないか。キリストのような思いやりのある言葉で、周りの人々の心を明るくしようと努めようではないか。(ビュー・アンド・ハルト 1897 年 2 月 16 日)

イエス・キリストを愛する人々は、このお方の品性を熟考し、このお方の言葉を瞑想し、このお方の教えを実行して、生きた伝道者となる。彼らの語る言葉は、銀の彫り物に金のりんごをはめたようになる。(手紙 2、1895 年)

日光のようなクリスチャン

「起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから。」
(イザヤ 60：1)

光の源である方とつながり、この生きたつながりを通して世の光となるのはクリスチャンの特権である。本当にキリストに従う者は、このお方が光の内におられるように光の内を歩くので、闇の中を歩いているがために、つまづきながら、不確かな道を旅するのではない。偉大な教師であられる方は、世にとって、かすみと闇の影を追い払いつつ、東から昇ってくる太陽としてあらわされる者となることのできる祝福を、ご自分の言葉を聞く者に印象づけておられる。夜明けは昼間に場所を明け渡す。光の燃えるような輝きで天を金色に輝かせ、染め、光の炎で天の栄光をたたえている太陽は、クリスチャンの生涯の象徴である。太陽の光が生きているすべてのものへの光と命と祝福であるように、クリスチャンも、自分たちの良い働きによって、自分たちの快活さと勇気とによって、世の光とならなくてはならない。太陽の光が夜の影を追い払って谷や丘にその輝きを注ぐように、クリスチャンは、自分の上に輝く義の太陽を反映する。

太陽が夜の薄暗がりを一掃するように、キリストに本当に従う者の矛盾のない生活の前には、無知も迷信も暗黒も消え去る。同じ方法でイエスの弟子たちは、暗闇にいる人々の道が真理の光で照らされるまで真理の光を広めながら、地の暗いところへ入って行く。これは、神の子と公言しながら味を失った塩のような者の生活とは、何と対照的なことであろう。……これらの日のささない公言するだけの者は暗闇の影である。……光の源である方につながるなら、すべての者が光の通路となることができる。彼らは輝かしい光の光線を世に伝えることができる。だれも暗さを語ることによって、不信を強める必要はない。疑いを口にすることはみな不信を強める。希望、勇気、光、そして愛のあらゆる思想と言葉は、信仰を強め、世にある道徳的暗黒に抵抗するように魂を強める。(手紙 16、1880 年)

真のクリスチャンは命から命に至る香りである。なぜならキリストが彼らの心の内に住んでおられるからである。彼らはこのお方のみ姿を反映している、光の子である。(原稿 33、1892 年)

10月18日

あなたがたの光を輝かしなさい

「そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」（マタイ 5：16）

キリストの王国に生まれたあらゆる魂に対して、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。そして、人々が、あなたがたの良い行いを見ることによって、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。という厳粛な責任が与えられている。義の太陽から受けた光の豊かな光線を隣人たちの上に注ぎなさい。あなたが神のみ座から豊かに分け与えられた光と真理の輝く宝石を、世にいる友人たちにきらめかせなさい。これが、ゆだねられたタラントで商売をすることである。義の太陽からの輝く光線をもっともっと捕えながら、光から更に大きな光へと進みなさい。そして一層輝きを放って真昼に至りなさい。（原稿 41、1890 年）

イエスは、クリスチャンに、輝くために努力するようにと命じておられるのではなく、自分の光が世にはっきりと明るく輝くままにしておくようにと命じておられる。あなたの光を覆ってはならない。罪深くもあなたの光を差し控えてはならない。かすみや霧、また世のマラリヤにあなたの光を覆わせてはならない。光をベッドやますの下に隠すのではなく、燭台の上に置きなさい。それは家の中にあるすべてのものに光を与えることができるためである。……神はあなたに、世の道徳的な暗黒を貫いて輝くようにと命じておられる。（原稿 40、1890 年）

多くの人は何が自分の問題なのかを知らずにいる。彼らは光を望むが、光線を見ない。彼らは助けを求めているが、応えを聞かない。わたしがイエス・キリストから来る光の神聖な光線を集めて、それを他の人々に輝かせないがゆえに、疑いと不信をいつまでも存続させてよいものであろうか。……

誘惑に対するわたし自身の魂の深い苦闘、また神を知り、イエス・キリストをわたしの個人的な救い主として知り、その愛のうちに確信と平安と休息を得たいという思いと心の熱い願いとは、義の太陽の光線がわたしのうえに輝くことのできる所に、毎日いたいという望みをわたしに起させる。この経験がなければ、わたしはほんとうに大きな損失をこうむるころになる。また、わたしが交わる人はみな、わたしがあらゆる光と慰めの源である方から受けて、彼らの道に投げかけているべき光の損失によって影響を受けることになる。わたしは本当に世の光となるのだろうか、それとも暗闇の影となるのだろうか。（原稿 41、1890 年）

あなたのいる所で忠実に

「そして彼らに言われた、『全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。』（マルコ 16 : 15)

福音を宣べ伝えるということは説教以上のものを含んでいる。だからその働きは牧師に限定されてはいない。魂の救いのためにさまざまな方法で働いているべき幾千の人々が怠けている。(ユース・インストラクター-1897年6月17日)

多くの人が、他の人に仕えるという大望に動かされていると感じる。彼らに、へりくだって神と共に歩み、自分のいる所で神の御言を行う者になることを学ばせなさい。彼らに、従順であること、能力の如何を問わず仕えることを学ばせなさい。もっともへりくだった働きをし、自分の置かれている状況が何であろうと、自分がキリストに仕えていることに気がつくように学ばせなさい。へりくだった肉体労働をすることで、あなたは、神が自分と共におられ、神が自分におゆだねになったタラントを用いているという事実を表すことができる。あなたがいるそのところで機会と特権があなたに自らを示す。だからもしもあなたがキリストに仕えようとしているなら、それらを悟って、活用することができる。どれほどへりくだった立場にあっても、あなたは堅固な忠実さ、誠実さを働かせる機会を見つける。そしてもしも最も低い立場で忠実に神に仕えるなら、あなたはもっと高い責任をゆだねられる。もしもあなたがわずかなことに忠実であれば、その忠実さは、あなたがキリストの学校で学ぶ者であって、更に大きな分野でキリストに仕える能力を、あなたが養っていることを証する。(ユース・インストラクター-1895年11月7日)

わたしたちは地上歴史の終りに近づいており、まもなくわたしたちは大いなる白い御座の前に立つ。あなたの働く機会はまもなく過ぎ去ってしまう。だから、今日召されている間に働きなさい。真の信者はみな、神の助けを得て、なすべき働きがどこにあるかを知ることができる。人間の意志は神の意志と協力する時に全能となり、働き人は機会を作ることができる。あなたが接触する魂を見守りなさい。彼らにおりにかなった言葉を語る機会を待ち構えていなさい。あなたが自分の周りにいる滅びつつある魂を救おうとする前に、紹介されるのを待ったり、あなたが彼らと知り合いになるのを待ったりしてはならない。もしもあなたが真剣に働きを始めるなら、その働きを成し遂げる道があなたの前に開かれる。神が、行うようにとあなたにお与えになった働きをなすための知恵と力と技能を求めて、神のみ腕に寄りすがりなさい。(ユース・インストラクター-1897年6月24日)

10月20日

キリストの使者の品性

「神がわたしたちをとおして勧めをなさるのであるから、わたしたちはキリストの使者なのである。そこで、キリストに代って願う、神の和解を受けなさい。」(コリント第二 5:20)

真のクリスチャンはみな、魂の救いのために何かするべきことがあると感じる。
(ビュー・アソド・ハルド 1900 年 5 月 29 日)

あなたが見知らぬ人に近づくとき、また、強情な人、苦しんでいる人、魂に欠乏を感じている人と向かいあうとき、もしもあなたがほんとうに自分自身を主にささげているなら、このお方はあなたのかたわらにおられる。このお方が心に強い印象を与えてくださる。しかし、あなたはこのお方の恵み深い働き の器となることができる。……

真理の代弁者はイエスのうちに隠れなければならない。このお方が彼らの偉大さ、力、そして能力であられる。彼らはこのお方が彼ら を愛されたように魂を愛し、このお方がそうであられたように従順であり、礼儀正しく同情に満ちていなければならない。彼らは自分のうちにある品性の欠陥がほんのわずかであっても、これに対して全力をあげて戦わなければならない。彼らはイエスを代表しなければならない。あらゆる行為にこのお方があらわれるようにしよう。(ビュー・アソド・ハルド 1892 年 4 月 12 日)

人々の心を読むことがおできになる神は、……魂一人一人を取り巻く状況を知っておられる。神は、生来の先天的な傾向や、習慣的に繰り返すことによって当たり前になっている罪を克服するために、人の魂の苦闘がどれほど多く、またどれほどすさまじいかわ知っておられる。……幾千もの人が……サタンの熟練した誘惑にさらされている。……そして彼らは神の知識がなく、罪人のかしらを救うために、神がこの世に送られたイエス・キリストの知識もない。ああ、なぜわたしたちは贖いの偉大な計画における働きで、自分の役割に気づかないのだろうか。……

真に悔い改めたすべての魂には、罪深い者を救うために忍ばれた、キリストの苦しみについてほんものの聖化された同情がある。もしもキリストの同労者であるなら、彼らは利己的な安楽、自己満足、利己的な放縦を克服し、魂をキリストに勝ち取るために、神が自分に与えて下さった力を働かせることによって、霊的腱と筋肉を成長させる。この天が任命した働きは、クリスチャン経験と品性に広さ、深さ、そして安定を与えるよう計画されており、キリストへの彼らの愛が絶えず増し加わり、同胞への彼らの愛がますます満ちる、もっと気高く、もっと純潔な雰囲気 を神の同労者にもたらすようにと計画されている。(原稿 41、1890 年)

わたしの主を正しく代表しているか

「主は言われる、『あなたがたはわが証人、わたしが選んだわがしもべである。』」
(イザヤ 43 : 10)

もしも信者が、キリストに導くことを目的として未信者と交際するなら、彼らはキリストのための証人となる。そして、自分の伝道を成し遂げると、純潔で聖なる雰囲気の中で呼吸するために身を引く。彼らは神のみもとに引き寄せられ、自分の友人や仲間のために熱心な嘆願をキリストにささげる。彼らはキリストがご自分によって神のみ許に来るすべての人を、最大限に救うことがおできになることを知っている。

未信者の前では、あなたは品性においてイエス・キリストの代表者であることを常に覚えていなさい。そして軽々しく軽薄な言葉、安っぽい会話をあなたの唇に上らせないようにしなさい。魂の価値を心に留めておき、どのような場合にも神との同労者であることが、あなたの義務であり、特権であることを覚えていなさい。あなたは未信者と同じレベルに自分を低め、笑い、同じような安っぽい会話をすべきではない。このようなことをすることによって、あなたは……自分を罪人の一人とする。このような振る舞いは、あなたを罪人の道にあるつまずきの石にするだけである。……

聖霊が心に働きかける時、わたしたちはその形づくる感化力に協力すべきである。そうする時にわたしたちは、気高い向上心を持ち、真理をはっきりと理解し、柔和でよく教えを聞く者になり、自分の義務を謙遜になしとげるようになる。これは、あなたが神をもっとよく知るようになる方法である。そして、神を親しく知ることはクリスチャンの特権である。そのとき、あなたはまだ悔い改めていない人々のために働くことができ、未信者との社交があなたを害することはない。あなたがたの命は、キリストと共に神のうちに隠されているからである。そしてあなたは、キリストの奉仕のために勝ち取る目的で、キリストから離れている人々との仲間付き合いを求める。神とのあなたのつながりは、あなたを霊的に強め、彼らが及ぼすどのような悪影響にも、あなたが耐えられるようにする。……

あなた自身を光の通路に置くよう気をつけ、「良い働きをしながら」巡回されたお方に、実際に従う者となりなさい。(手紙 51、1894 年)

10月22日

真理の種をまく

「朝のうちに種をまけ、夕まで手を休めてはならない。実るのは、これであるか、あれであるか、あるいは二つともに良いのであるか、あなたは知らないからである。」
(伝道の書 11:6)

神の子らと公言する者として、わたしたちは失われた者を探し、救う、厳粛な義務のもとにある。……神は、あなたが信者にも信者でない人にも交わるように望んでおられるが、それは、あなたが、全ての人が真理の満ち溢れる知識を知るのを手伝うことができるためである。あなたは、あなたが助けることができると思う人々と知り合いになりなさい。そして彼らと会話する時には、無価値なこと、愚かなことを語らないで、神の尊い事柄について話しなさい。……もしも、あなたがキリストの精神で人々の魂に到達し、助けようと努めるなら、神の御使は、思いに感動を与える。(原稿 81、1909 年)

あなたが何処にしようとも、あなたの光を輝かせなさい。あなたの交際している人々に、車中でも、訪問先でも、また隣人との会話の時にでも、文書やパンフレットを手渡しなさい。おりにかなった言葉を語る、あらゆる機会を活用しよう。
……

わたしたちは、自分が会う人々との交際において、親切と礼儀を培うべきである。……真理をわかりやすい方法であらわすよう、常に努力しよう。この真理は、受け入れる人にとって命、永遠の命を意味している。それゆえ人々に接触する際、この世の一時的な性質の主題から霊的な永遠の主題へとなめらかに、そして丁寧に移すよう研究しなさい。……道を歩く時も、道のかたわらに休んでいる時にも、あなたはだれかの心に真理の種をまくことができる。(健康への勧告 435)

主なるおかたのためになすべきはたらきがある。わたしたちの感化によってキリストに導くことのできる魂がある。だれが、心を尽くしてこの働きに携わる用意ができているだろうか。

「種をまく時期はあなたのもの。

神だけが、播かれたものの結果をご覧になる。

弱く、かすんだ、わたしたちの視力の向こうに、

収穫の時は神とともに隠されている。

しかし、それがどこにまかれたか、忘れられてはいない。

物惜しみをしない犠牲の種は、

砂漠のようにみえるところに投げ捨てられても、

もえいで、花を咲かせ、ついには実る。」

(サイン・オブ・ザ・タイムズ 1882 年 1 月 19 日)

見張り、祈り、働く

「わたしたちは、わたしをつかわされたかたのわざを、昼の間にしなければならない。夜が来る。すると、だれも働けなくなる。」(ヨハネ9:4)

天の台帳がわたしたちの前に開かれると、わたしたちはその中にキリストの王国の建設に実際には何一つ貢献せず、魂の救いのために何一つ努力しない自称クリスチャンがあまりにも大きい割合を占めていることに非常に驚く。このような人々は怠惰な僕である。多くの良いことをしないで満足している多くの人は、自分たちが熱心で活動的な働き人に反対しない限りは、害を加えてはいないと、都合よく思い込む。しかしこの種類の人々は、自分たちの手本によって大変な害を与えている。……

怠惰な僕は彼が何を行ったかで咎められるのではなく、何も行わなかったことで咎められる。神の働きにとって怠惰なクリスチャンほど危険な敵はいない。公然と神を汚す人は、だれをもあざむかないので害は少ない。彼は、いばらであり、とげであることをあらわしている。何もしない人々は、最も妨害する者である。重荷を負わない人々、気に入らない責任をすべて避ける人々は、最初にサタンのわなに捕えられ、最初に彼らの影響力を悪い方向へ及ぼす。

見張り、祈り、働く—これらはクリスチャンの合言葉である。だれも魂の救いの働きから中座しないようにしよう。自分には何も要求されていないと信じて、だれも自分を欺いてはならない。だれ一人として、一タラントを持っていた人に期待された分より要求されるものが少ない人はいないのである。(ビュー・アンド・ヘラルド 1883年5月1日)

家族の中で、近隣で、あらゆるところでキリストのためにしなければならない働きがある。貧しい人や病人、または遺族の人々への親切によって、わたしたちは彼らへの感化力を得ることができるが、それは聖なる真理が彼らの心に近づく方法を見出すことができるためである。役に立つ機会はすべての人に与えられている。キリストの精神を吹き込まれている人はみな、自分が生けるぶどうの木の実を結ぶ枝であることをあらわす。……

わたしたちが来世に見たいと願うような記録を作るのは、わたしたちの責任である。わたしたちは、そのページを神と人類への熱心な働きの記録で満たしたいのだろうか。「わたしたちは、わたしをつかわされたかたのわざを、昼の間にしなければならない。夜が来る。すると、だれも働けなくなる」(ヨハネ9:4)と宣言されたお方の足跡に従おうではないか。(ビュー・アンド・ヘラルド 1883年5月1日)

10月24日

それぞれ仕事を割り当て

「それはちょうど、旅に立つ人が家を出るに当り、その僕たちに、それぞれ仕事を割り当てて責任をもたせ、門番には目をさましておれと、命じるようなものである。」(マルコ 13:34)

わたしたちには個人的な働き、個々の責任、個人的に提出すべき報告書がある。そしてわたしたちが確保しなければならないのはわたしたち自身の救いであるが、それは個人的な関心事だからである。……他の人々の敬虔や服従が、わたしたちを救うのではなく、わたしたちの仕事を果たすのではない。彼らの努力が、わたしたちのものとして、わたしたちの名前の反対側に記録されることは、けっしてない。……

神はわたしたち一人一人に仕事を割り当てておられる。それは、栽培、種まき、刈り入れ、収穫などの一時的な労働ではなく、ご自分の王国を建設し、魂を真理の知識にいたらせ、これをわたしたちの第一の義務、最高の義務とみなすことである。……神はわたしたちに要求なさる。もしもわたしたちが自分の能力と機会を知り、それらを活用する気があるなら、神はわたしたちに能力を授け、機会を与えて下さっている。神へのこれらの義務は、ほかのだれでもなく、わたしたち自身が個人的に果たせるものである。他の人々の怠慢が……彼らの手本に従うだれ一人にとっても、言い訳とはならない。なぜならキリストが唯一の真の型(パターン)―失敗のない、純潔な、誤りのないパターン―として掲げられているからである。……

共犯で悪を行いながら、そのことにおいて自分の個人的な責任をのがれていると考えているように思える人々がいる。しかし、神はなおどんなに些細であってもキリストの働きを対抗する傾向のある行動を取ったことに対して一つ一つ彼らに責任を問われる。彼らと結託した者が多かろうが少なかろうが、罪は同じである。わたしたち個々人に責任がある。自分自身のことこそ、懸案事項とすべきである。わたしたちは自分のあらゆる言葉と行動において、キリストの王国を建設しているだろうか。それとも取り壊しているだろうか。キリストは、わたしたち一人一人に「わたしに従ってきなさい」と言われる。そうであるなら、わたしたちがイエス・キリストに従う者であると見られようではないか。(原稿 15、1885 年)

今は、わたしたちの働くべき時である。今は、わたしたちにとって、自分の品性を聖なる型であるお方にかたどって、形づくる時である。……もしもわたしたちがキリストを知っているなら、わたしたちはこのお方を他の人々に示す。「あなたがわたしを世につかわされたように、わたしも彼らを世につかわしました」(ヨハネ 17:18)。このお方は、御父をこの世に表わすためにおいでになった。そしてこのお方がわたしたちに与えておられる働きは、ご自分の品性を表わすことである。わたしたちはこの働きから逃れることはできない。(手紙 42、1890 年)

家庭に小さな教会

「しかし、イエスはお許しにならないで、彼に言われた、『あなたの家族のもとに帰って、主がどんなに大きなことをしてくださったか、またどんなにあわれんでくださったか、それを知らせなさい。』」(マルコ 5:19)

キリストとの関係が形づくられると、新しくされた人は、彼に任命された神との関係にただ帰って行く。彼はキリストの代表者である。……彼の義務は彼の周りに、遠くにも、近くにもある。彼の第一の義務は、子供たちと近親者に対してである。外にもっと大きな対象があるからといって、内にある対象を軽視する言い訳にはならない。最後の決算の日に、父親も母親も自分の子供たちに関して答えるように要求される。両親たちは、自分たちがこの世にもたらす責任を負った魂、子供たちの救いを確実なものにするために何をし、何を語ったかを尋ねられる。

.....

父親、母親の方々、あなたがたは自分の子供たちが不純と罪の中で成長するのを許しているのではないか。他人のために偉大な善行を行ったとしても、それであなたの子供たちの世話をするという、あなたが神に負っている負債を免除することはない。あなたの家族の霊的な安寧が第一優先である。あなたは、釈明しなければならない者として子供たちのために労しながら、彼らをカルバリーの十字架に伴いなさい。

両親は子供たちの協力を得るように努めなければならない。このようにして彼らは神の同労者になることができる。ある家族は、家庭に小さな教会を持っている。相互の愛が心と心を結び、家族の中に存在する一致は、実際に神のようであることを語ることでできる最も効果のある説教となる。

両親が家族の中で自分の義務を忠実に果たすとき、すなわち抑制、矯正、助言、勧告、指導をしながら、父親は家族の祭司として、母親は家庭の伝道者として自分の義務を果たすとき、神が彼らに満たさせようと思っておられる領域を、彼らは満たしている。家庭で自分の義務を忠実に果たすことによって、彼らは家庭の外で善を行う人々を増やしている。彼らは教会での働きによりよく適した者となっていく。子供たちを自分たちと神に結びつけながら、自分たちの小さな群れを思慮深く訓練することによって、父親も母親も神の同労者となる。……家族の一員は、天の王家の一員となり、天の王の子供となる。(原稿 56、1899 年)

10月26日

神への奉仕に中立はない

「わたしの味方でない者は、わたしに反対するものであり、わたしと共に集めない者は、散らすものである。」(マタイ 12:30)

兄弟姉妹方よ、わたしたちは神の基準に達することから遠く離れている。わたしたちの働きはわたしたちに与えられている特権や機会に一致していない。……

神の奉仕に中間の立場はない。……だれも世と妥協しておきながら、主の祝福を楽しむことを期待しないようにしましょう。神の民に、この世から出てきて、分離させなさい。わたしたちはもっと熱心に天父のみ心を知り、それを行うように努めよう。わたしたちの上に輝いている真理の光がわたしたちから世に輝き出ることができるよう、その明るい光線を受けよう。わたしたちの持っている信仰が、わたしたちをよりよい男女にしていること、それは生きた現実であり、品性を聖化させ、生活を変えることを未信者に見させよう。……わたしたちの会話が天の事柄であるようにしましょう。クリスチャンの快活な雰囲気で自分たちを包もう。わたしたちの宗教は試練というテストに立ち向かうことができることを示そう。わたしたちの親切、寛容、愛によって、世にわたしたちの信仰の力を証明しよう。

クリスチャン生活を順調に出立した人々の多くが霊的力を失ってきており、無益なつまらない会話にふけることによって敵の権力下に自らを置いている。彼らは必要な力を求めるために、聖なる信頼を持って神を仰ぎ見ることができない。彼らは、自分の不敬な振る舞いによって、キリストに来ることができる魂の道をふさぐ。これらの不注意で軽薄な者に、あらゆる言動が天の書に写し取られていることを思い起こさせよう。人の手ではこの不面目な汚点を一つとして消すことはできない。……

日常生活でキリストと真理についての知識を持っていない人々と接触する時に、わたしたちは自分の農園や商品や利害だけを話すのだろうか。それとも未来の人生に関する事柄を語るのだろうか。わたしたちは魂をイエスに勝ち取るよう努めるのだろうか。ああ、キリストに従う者だと公言する者に対して、何と恥ずかしい義務の怠慢が記録されたままであろうか。品性のあらゆる欠点を見出すことを求めながら、神の御言の光で自分自身を熱心に吟味しよう。それはわたしたちが自分の衣を洗い、小羊の血で白くすることができるためである。(ビュー・アンド・ハルト 1886年6月15日)

奉仕の報い

「人が若い時にくびきを負うことは、良いことである。」(哀歌 3 : 27)

主はご自分の奉仕に加わるようにと、青年男女を召しておられる。青年は理解が早く、活発で、熱烈で、希望に満ちている。一度自己犠牲の精神を味わえば、彼らはたえず偉大な教師の教えを受けなければ満足できなくなる。……

わたしたちが偉大な教師と結合して働くとき、わたしたちの経験は向上する。思いの能力は拡大され、良心は神の指導のもとにある。キリストはその人の全存在をご自分の支配下におかれる。わたしたちはこのお方がこうなさるのを任せるときだけ安全である。なぜなら、もう一つの勢力がすぐそばにいて、入ってきて、自分の破壊的な罠にかける働きを始める機会をねらっているからである。そうであるなら、わたしたちが神の奉仕に加わるとき、このお方に全存在、体、魂、霊を所有していただく。……

だれでも、キリストと本当に結合し、このお方の教訓を実践し、このお方の抑制のくびきに服するならば、自分ではけっして言葉で表現できないことを悟らずにはいられない。新しい豊かな思想がその人にもたらされる。知性に光が、意志に決断力が、良心に敏感さが、想像に純潔が与えられる。(原稿 18、1901 年)

本当に改心した青年男女は、すべての不正、罪惡から離れる。……もし彼らが罪のいやな性質を知り、それをあるがままのいやしむべきものとして憎み、真理に従うことによって自分の魂を潔めつつ、悔恨のうちにイエスのところに来るなら、彼らはみ働きの一部を委ねていただくことができる。……

神は心を読み、品性を量り、すべての人の働きを知っておられる。このお方は、ご自分のみ働きに従事する人々が表わす献身と自己犠牲に比例して、御霊を与えて下さる。(レビュー・アンド・ヘラルド 1890 年 5 月 20 日)

青年には力がある。彼らは年月の重みや、苦勞ですり減らされてはいない。彼らの愛情は熱烈である。だからもしもその愛情が世から引つ込められ、キリストと天の事柄におかれるならば、神のみ旨を行うときに、彼らは永続するより良い生涯への希望を持つようになり、栄光、名誉、不死、永遠の命を冠されてとこしえに住むようになるのである。(レビュー・アンド・ヘラルド 1886 年 3 月 30 日)

自信に注意

「ペテロはイエスに言った、『主よ、なぜ、今あなたについて行くことができないのですか。あなたのためには、命も捨てます』。イエスは答えられた、『わたしのために命を捨てると言うのか。よくよくあなたに言うておく。鶏が鳴く前に、あなたはわたしを三度知らないと言うであろう』。」(ヨハネ 13:37, 38)

ペテロが失敗する直前に、キリストは「シモン、シモン、見よ、サタンはあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って許された」と彼に言われた(ルカ 22:31)。救い主のペテロに対する友情はいかに真実であったことだろう。このお方の警告は何とあわれみに満ちていたことだろう。しかしその警告はペテロを憤慨させた。ペテロはうぬぼれて、キリストが自分に警告して下さったことを決してすることはないと大胆に断言した。「主よ」、彼は言った。「わたしは獄にでも、また死にいたるまでもあなたとご一緒に行く覚悟です」。彼の自信が、彼の破滅を証明した。彼は自分を誘惑するようにとサタンを誘惑した。そして陰險な敵の策略に落ち入った。キリストが彼を最も必要となさった時に、彼は敵の側に立ち、公然と自分の主を否認した。……

今日も、ペテロが自信をもって、自分は主を否定しないと断言したときに、彼が立っていた場所に多くの人が立っている。そして、彼らは自分のうぬぼれのゆえに、たやすくサタンの策略のえじきになる。自己の弱さに気づいている人々は、自分よりもっと高い力を信頼する。そして彼らが神を仰いでいる間は、サタンは彼らに対して力がない。しかし、自分を信頼する人々はたやすく負かされてしまう。神がわたしたちに与えて下さる警告に、わたしたちが注意を払わないなら、失敗がわたしたちの前にあることを覚えていよう。キリストは、自発的に敵の陣地に自分の身を置く人を負傷から救い出すことはなさらない。このお方は、あたかも自分の方が主よりもよく知っているかのように振舞う、うぬぼれた人には、自分が持っていると思っている力で進み続けさせる。そうする時に苦しみ、損なわれた生活、あるいは恐らく敗北と死がやってくる。

戦いにおいて、敵は自分が攻撃している相手の防備の最も弱い点について攻撃する。ここでサタンは最も残忍な激しい攻撃をする。クリスチャンは防御に弱点があってはならない。聖書が神のみ旨を行っている人に与える支えによって、バリケードで囲まれなければならない。誘惑された魂は、「……と書いてある」という言葉で誘惑者に対抗なさったお方の模範に従うなら、勝利を得る。彼は「主はこのように言われた」という保護で、安全に立つことができる。(原稿 115、1902 年)

クリスチャン競走のエネルギー

「あなたがたは知らないのか。競技場で走る者は、みな走りはするが、賞を得る者はひとりだけである。あなたがたも、賞を得るように走りなさい。しかし、すべて競技をする者は、何ごとにも節制をする。彼らは朽ちる冠を得るためにそうするが、わたしたちは朽ちない冠を得るためにそうするのである。」(コリント第一 9:24、25)

神に完全な奉仕をお返しするために、わたしたちは神のみ旨についてのはっきりした概念を持たなければならない。このことは、わたしたちに単純な方法で調理された健康的な食物だけを取るように要求しているが、それは贖いの価値とキリストの潔める血潮の計り知れない価値を、わたしたちがはっきりと見分けることができるように、繊細な脳神経を傷つけないためである。……

もしも自分の大望の報いとして花輪や朽ちる冠以上の目標もないのに、人々が万事につけ節制しているとすれば、不死の栄光という朽ちない冠だけでなく、エホバのみ座が続く限り持続する命と、永遠の富、不朽の栄誉、永遠の栄光の重みを求めていると公言する人々は、どれほどさらに多くの節制をしなければならないことだろうか。クリスチャンの競走を走っている人々の前に示されている報酬は、彼らをすべてのことに克己と節制を实践するよう、導くのではないだろうか。……

神のみ旨を行いたいという真剣さと熱烈な願いをもって、わたしたちは他のどんな事業に携わる人々の熱心さをもしのぎ、自分たちが到達しようと努めている目標の価値の高さに見合ったはるかに大きなものにすべきである。わたしたちが確保しようと努力している宝は、滅びることがなく、不死であり、栄光に満ちている。その一方で世の名利を追う人が求めているものは、その日限りのものである。……

世的に成功することが、わたしたちの大きな願望となることがないように。そうではなく、より良い世界をどのように確保するかということが、わたしたちの魂の重荷となるようにしよう。救われるために私は何をすべきだろうか。……全ての者が取らなければならない立場は、地上の利益よりも救いをもっと大切に評価し、キリストを得るために、全てのことを損と思うようになることである。献身は完全でなければならない。神はあますところのない、また部分的でない犠牲、偶像のない献身をお認めになる。全ての者は自己と世に死ななければならない。それから、わたしたち一人一人が日々神への献身を新たにしよう。永遠の命は生涯をかけ、根気よく、疲れを知らぬ努力をする価値がある。(ビュー・アズ・ワルド 1880年3月18日)

10月30日

「自分のことに気をつけなさい」

「自分のことと教のこととに気をつけ、それらを常に努めなさい。そうすれば、あなたは、自分自身とあなたの教を聞く者たちとを、救うことになる。」(テモテ第一 4:16)

テモテに与えられた責任はあらゆる家庭で心にとめなければならない。そうすればあらゆる家族またあらゆる学校で教育する力となる。……

わたしたちの青年の最も高い目標は何か奇抜なことを懸命に努力することであってはならない。テモテの思いと働きの中にはこのようなものは何もなかった。すべて良いものの敵の手中にある知識は、ただ自分たちを破滅させる力となることを、彼らは心にとめるべきである。天使の群れの中で高い地位を占めていた者は非常に理知的な者であったが、最後には反逆者となった。そして知的に優れた学識を持った人々の多くは、今彼の力によって導かれ、とりこにされている。青年は、聖書の教えの下に自らを置き、その教えを思想と日々の生活に織り込まなければならない。そうする時、彼らは天の宮廷において最高のものとみなされる特質を持つ。彼らは自分を神のうちに隠し、彼らの生活は神の栄光をあかす。(ユース・インストラクター 1898 年 5 月 5 日)

「自分のことと教のこととに気をつけなさい」。まず自分自身に注意を払う必要がある。まず主の奉仕のための聖化を求めて、自分自身を主にささげなさい。神を敬う模範は、秩序のある生活を伴わないもっとも偉大な雄弁よりも、真理のためにより良い効果がある。魂のランプの芯を切り、聖霊の油でランプを再び満たしなさい。あなたの働きを成功させることのできる恵みとはっきりした理解力を、キリストに求めなさい。このお方がご自分の命をお与えになった人々のために働くことが何を意味するのかをこのお方から学びなさい。最もタラントのある働き人でも、命の望みと力強さであるキリストが内に形づくられなければならない、大した働きはできない。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 7 巻 916)

高潔で円満な人格は偶然にできるものではない。それは家庭における神の律法への服従と青少年時代の品性建設の結果であり、家庭における神の律法を実践した結果である。(ユース・インストラクター 1898 年 5 月 5 日)

神は上よりの力を青年に吹き込もうと待っておられる。それはイエス・キリストの血染めの旗の下に立つすべての者が、魂を安全な道へと呼びかけ、警告し、導き、多くの人の足を千歳(ちとせ)の岩の上にとしっかりと立たせるために働くことができるためである。(手紙 66、1894 年)

10月31日

神の同労者

「わたしたちは神の同労者である。あなたがたは神の畑であり、神の建物である。」
(コリント第一3:9)

人は天へ引っぱって行かれることはできない。彼は受身の旅行者として行くことはできない。彼は自分でオールを漕いで、神の同労者として働かなければならない。(手紙 135、1897 年)

もしもあなたがオールを置いて漕ぐのを休んでも、なお上流へ上っていくことができる考えるなら、あなたは間違っている。あなたが流れに逆らって進むことができるのは、ただ熱心な努力と、力の限りオールを漕ぐことによってだけである。何と多くの人が、決して失敗なさることのない力の源を持っていながら、水のように弱いのだろう。天はわたしたちに分け与える用意が出来ているが、それはわたしたちが神にあって力強い者となることができ、キリスト・イエスにある完全な男女の姿に到達することができるためである。しかし、過去においてあなた達のうちだれが、聖潔の道で向上してきただろうか。……うらやみ、自尊心、悪意、妬み、そしてあらゆる悪いしみが拭い去られて、御霊の恵みだけが残るまでは、だれが尊い達成を一つずつ得ることができているだろうか。……

もしもわたしたちが神の用意しておられる助けをしっかりとつかむなら、このお方はわたしたちを助けて下さる。神は「わたしの保護にたよって、わたしと和らぎをなせ、わたしと和らぎをなせ」(イザヤ 27:5)と言われる。これは祝福された約束である。わたしが何度も落胆し、ほとんど絶望するばかりになったとき、わたしはこのみ約束をもって主のもとに来了。……そして神の力強さをつかんだときに、人知を超える平安を見出した。(原稿一、1869 年)

人の魂を救う働きには二つの壮大な力がある。それには神の代理者—聖なる感化力と強く、生きた、働く信仰—と共に人の協力が要求されている。人間が神の同労者となることができるのはこの方法だけである。主はわたしたちのだれひとりとして、盲目で愚かに何でも信じ込むことを是認なさらない。主は人間の理解力を軽蔑なさらない。それどころか、人間の意志が神のみ旨と結合することを求めておられる。このお方は人間の思いの創意工夫と機転と技能とを、イエスのうちにあるがままの真理を探り出すために精力的に働かせるよう命じられる。……あなたは神の同労者である。(手紙 109、1893 年)

が女のすえについて語られたとき、どなたのことを話していたのでしょうか。このお方はもちろん、ご自分のみ子のことを、そして赤ちゃんーエバの子のひとりーとしてこの地上に来られ、ご自身で大敵と戦う日のことを考えておられました。イエス・キリスト、インマヌエル、すなわち「われらと共にいます神」として、このお方はサタンを滅ぼし、アダムとエバと神さまを愛するすべての人をエデンに連れ帰るのでした。

もちろん、もし神がアダムとエバに、「あなたは自分たちが家に帰るのを見るまでに何千年と待たなければならない」と告げておられたら、彼らはすっかり失望してしまったことでしょう。ですから、最終的にはすべて良くなることを彼らが知るのに必要な分だけをお教えになりました。これは彼らの哀れな悲しい心を元気づけ、彼らが希望を持ちつづけるようにしました。そして、人々は次々と時代をくだって同じ祝福された希望を伝えていったのです。

こうして神さまを愛したすべての人々ーこの遠い先の時代に至るまでーが、イエスさまが来られるのを待ち望むようになりました。これこそ、「アダムから7代目にあたる」エノクが「見よ、主は無数の聖徒たちを率いてこられた。それは、すべての者にさばきを行うため」だと語った理由です。

今日、同じ希望がわたしたちのものです。どこでも、神さまを愛する男の子や女の子はこのお方がもどって来られるのを熱心に待ち望んでいるのです。なぜなら、このお方が来られるとき、神がアダムになされた約束がはたされ、「悪魔と…呼ばれ(る)年を経たへび」が滅ぼされるからです。そのときまた、エデン、すなわち美しくはなやかなエデンが回復され、神さまのすらはそこに完全な幸福のうちに永遠に住むようになるのです。

小松菜と切り干し大根のごま和え

■材料・2人分

小松菜	2束
切り干し大根	20g
★しょう油	大さじ1
★レモン汁	大さじ1
★顆粒昆布だし	小さじ1
★塩昆布	一つまみ
★粗糖	小さじ2
★いりごま	大さじ2
★すりごま	大さじ2
★生姜(すりおろし)	小さじ2

■作り方

1. 小松菜は洗って食べやすい長さに切る。
2. 切り干し大根は、はさみで2センチくらいに切る。
3. 小松菜と切り干し大根を、5分ほどゆでてよく水を切る。
4. 水切りした小松菜と切り干し大根に★をよく混ぜ合わせる。

教会プログラム (毎週土曜日)

安息日学校 : 9:30-10:45 (公開放送)

礼拝説教 : 11:00-12:00 (公開放送)

午後の聖書研究 : 14:00-15:00

【公開放送】 <http://www.4angels.jp>



聖書通信講座

※無料聖書通信講座を用意しております。

□聖所真理



お申込先 : 〒350-1391 埼玉県狭山郵便局私書箱 13 号「福音の宝」係
是非お申し込み下さい。

書籍

【永遠の真理】聖書と証の書のみに基づいた毎朝のよみもの。



【安息日聖書教科】は、他のコメントを一切加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。



聖書物語

パート2 第11話
ひとすじの希望(II)

彼らは二人とも、どれほどこの約束を愛したことでしょう！それは人になされた最初の約束でした。そして聖書に述べられた最初の約束です。アダムとエバにとって、それは彼らがもっていた唯一の約束でした。そしてそれは彼らにとってどれほど尊いものだったことでしょう！暗い日々に、すべてが悪くなるように見えるときに、彼らはそれを思い出し、それについて語り、ついに彼らの悲しい心にもう一度、希望がわきおこるのでした。

みなさん、彼らがどれほど熱心に最初の赤ちゃんが生まれることを待ち望んだか、想像できることでしょう。もしかしたら、その子がその人一成長したときに一へびの頭をくだく者かもしれません。もしかしたら、彼らはエデンに戻るのに、結局はそれほど長く待たなくてもよいかもしれません！

しかし、カインが生まれたとき、彼はへびをくだくことはしませんでした。その代わりに、彼は失望を与えるものとなりました。アベルもセツも、

また他のどの子もその約束を実現させるものはありませんでした。

長年が過ぎていきましたが、なお彼らをパラダイスと命の木にもどすためにだれも来ませんでした。希望を持ち続けるのは、むずかしかったにちがいありません。

主が園でその約束をなさったとき、み思いの中には何があったのでしょうか。このお方



(67 ページに続く)